

付属統計表
第II部

第70表 男女,規模および雇用形態別の所得水準を考慮した雇用の増減

第70表 男女,規模および雇用形態別の所得水準を考慮
した雇用の増減
(非農林業雇用者, 昭和48年=100)

年	計			男 子			女 子		
	実数	所得による加重済		実数	所得による加重済		実数	所得による加重済	
		規模別	雇用形態別		規模別	雇用形態別		規模別	雇用形態別
実 数									
48 年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50	100.9	101.9	101.8	102.2	102.1	102.6	98.2	98.3	98.7
51	102.7	102.7	102.9	103.4	103.0	103.9	101.2	100.9	101.4
52	104.3	103.5	104.2	103.7	103.0	104.0	105.3	104.9	104.6
53	105.2	103.9	104.6	103.8	103.0	103.9	107.7	107.2	106.6
対前年増減率(%)									
51 年	1.8	0.8	1.1	1.2	0.9	1.3	3.1	2.6	2.7
52	1.6	0.8	1.3	0.3	0.0	0.1	4.1	4.0	3.2
53	0.9	0.4	0.4	0.1	0.0	-0.1	2.3	2.2	1.9

資料出所 総理府統計局「労働力調査」, 「就業構造基本調査」
労働省労政局労働経済課試算

(注) 所得による加重とは, 52年「就業構造基本調査」による男女別の規模別または雇用形態別所得により, 年ごとの規模別または雇用形態別雇用者を加重して得られる系列を48年=100として指数化し, あわせて, その対前年増減率をとったものである。

第71表-1 産業別にみた労働生産性の動き

第71表-1 産業別にみた労働生産性の動き
(昭和50年=100)

年	製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	生産	生産性	活動指数	生産性	活動指数	生産性	活動指数	生産性
45年	93.5	91.2	72.7	73.8	75.0	86.1	83.0	93.5
46	95.4	92.7	77.6	78.9	80.6	89.5	87.3	95.3
47	105.2	103.0	89.4	91.7	87.3	94.6	91.4	96.7
48	117.0	109.1	101.3	104.9	98.1	102.2	96.1	99.5
49	112.4	105.8	96.2	97.1	91.6	94.8	96.6	99.5
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	111.2	111.3	109.4	102.7	98.5	98.3	103.0	100.5
52	115.7	116.2	117.3	107.1	103.8	99.6	106.9	101.2
53	123.0	124.9	135.8	127.5	109.3	101.6	111.4	101.0

資料出所 通商産業省「通産統計」

総理府統計局「労働力調査」

(注) 生産性 = $\frac{\text{生産指数 (または第3次産業活動指数)}}{\text{就業者数}}$ を50年平均=100として指数化。

第71表-2 製造業の業種別にみた労働生産性の動き

第71表-2 製造業の業種別にみた労働生産性の動き
(対前年増減率と寄与度)

(単位 %)

業 種	49年	50年	51年	52年	52年寄与度			53年	53年寄与度		
					生産	雇用	時間		生産	雇用	時間
製 造 業	1.3	-3.0	10.4	5.6	4.0	1.7	-0.3	8.8	6.3	3.1	-0.7
食 料 品	1.9	-1.1	-3.2	1.3	4.0	-2.3	-0.1	1.2	2.0	-0.5	-0.4
繊維・衣服	-4.1	4.7	8.4	3.8	-2.1	5.3	0.6	7.1	0.5	8.4	-1.6
パルプ・紙	0.3	-6.4	14.2	5.2	1.8	2.9	0.4	8.4	4.8	4.4	-0.9
化 学	2.1	-4.9	12.6	7.9	5.1	2.9	-0.2	16.1	11.5	4.5	-0.4
石油・石炭	-1.1	-2.8	6.2	6.0	1.9	4.1	-0.1	1.4	-0.7	1.9	0.1
ゴ ム	3.8	6.6	14.6	2.4	2.9	2.1	-0.9	6.6	5.3	2.2	-1.0
窯業・土石	-1.6	-7.0	15.5	6.2	4.3	2.5	-0.6	3.2	5.0	-0.2	-1.2
鉄 鋼	0.9	-6.6	13.8	1.2	-1.3	3.4	-0.8	6.4	1.9	4.3	0.2
非鉄金属	-6.5	0.4	15.4	7.7	4.8	2.7	0.1	11.3	8.0	5.0	-1.9
金属製品	-16.6	8.5	17.3	10.7	6.9	3.5	0.0	13.1	8.0	5.3	-0.6
一般機械	3.0	-10.4	12.1	8.6	6.3	3.3	-1.1	13.3	8.4	4.5	0.0
電気機器	3.2	-3.9	20.8	6.1	6.4	-0.7	0.5	14.4	13.6	2.2	-1.5
輸送機械	5.3	2.2	1.8	3.1	-0.8	0.8	-1.5	3.7	0.6	2.0	0.9
精密機器	14.8	3.0	24.9	25.0	29.4	-3.1	-0.3	14.6	15.7	-1.4	0.4

資料出所 労働省「毎月勤労統計」

通商産業省「通産統計」

(注) 労働生産性 = $\frac{\text{生産指数}}{\text{雇用指数} \times \text{総実労働時間指数}}$

第72表 年齢階級別にみた労働力人口増減の内訳

第72表 年齢階級別にみた労働力人口増減の内訳

(対前年増減差)

(単位 万人)

年齢階級・年	男 子					女 子						
	労働力人口	農林業就業者	非農林業就業者			完全失業者	労働力人口	農林業就業者	非農林業就業者			完全失業者
			自営業主	家族従業者	雇 用 者				自営業主	家族従業者	雇 用 者	
年齢計												
48~50年	57	-17	5	-7	52	22	-60	-23	-27	-2	-21	10
51	32	-2	2	-3	29	8	23	-15	7	-4	36	0
52	13	-5	9	1	8	-2	60	-7	5	9	47	4
53	25	0	15	0	3	9	55	0	8	14	29	5
15~29歳												
48~50年	-28	-5	-6	-5	-16	7	-63	-4	-8	-8	-44	2
51	5	2	4	-2	-1	1	-2	0	4	0	-6	1
52	-41	-2	-1	-1	-39	0	-1	-3	-2	-1	-1	2
53	-50	-1	-5	-2	-40	1	-15	-1	0	-3	-9	0
30~39歳												
48~50年	10	-8	-4	1	17	4	-17	-11	-12	1	0	4
51	-15	-4	-2	-2	-7	1	-3	-6	3	-4	7	-1
52	20	1	-2	1	20	0	23	-4	1	1	22	2
53	35	0	6	2	24	2	31	0	4	7	19	2
40~54歳												
48~50年	69	-2	11	0	52	7	17	-6	-5	4	20	3
51	38	-2	5	0	33	3	17	-6	0	0	25	0
52	35	-1	9	1	26	-1	25	-3	4	5	20	0
53	28	-1	9	1	18	3	23	-2	3	6	13	2
55歳以上												
48~50年	5	-2	3	-1	1	6	4	-3	-3	2	4	2
51	4	3	-4	0	-1	3	10	0	2	0	10	-1
52	0	-2	1	0	2	0	12	1	2	4	5	1
53	12	2	7	0	1	2	17	4	1	4	6	0

資料出所 総理府統計局「労働力調査」

(注) 48~50年は、48年から50年までの増減差、その他は対前年増減差である。

第73表-1 「農業が主」の世帯員の就業者の増減

第73表-1 「農業が主」の世帯員の就業者の増減

(単位 千人)

区 分	計	男 子				女 子
		年齢計	35歳未満	35～59歳	60歳以上	
A 他産業への就職者						
48 年	247.9	128.0	44.9	72.8	10.4	119.9
49	180.4	95.3	33.0	53.3	9.1	85.1
50	145.0	77.3	25.8	45.2	6.4	67.8
51	104.0	56.7	20.1	31.2	5.5	47.3
52	102.2	57.1	19.9	31.7	5.5	45.1
52 1～6月	50.9	29.3	10.2	16.2	3.0	21.7
53 1～6月	51.8	28.4	10.5	15.2	2.7	23.4
B 他産業からの離職就農者						
48 年	113.5	68.9	23.2	35.1	10.8	44.6
49	101.8	58.4	19.8	28.3	10.4	43.5
50	94.3	58.8	18.0	27.8	13.1	35.6
51	86.7	58.2	19.8	27.3	11.1	28.5
52	97.6	64.3	20.9	30.0	13.4	33.3
52 1～6月	51.2	34.2	11.6	15.6	7.0	17.0
53 1～6月	60.2	39.7	11.2	17.8	10.8	20.5
C (B-A)純増減						
48 年	-134.4	-59.1	-21.7	-37.7	0.4	-75.3
49	-78.6	-36.9	-13.2	-25.0	1.3	-41.6
50	-50.7	-18.5	-7.8	-17.4	6.7	-32.2
51	-17.3	1.5	-0.3	-3.9	5.6	-18.8
52	-4.6	7.2	1.0	-1.7	7.9	-11.8
52 1～6月	0.3	4.9	1.4	-0.6	4.0	-4.7
53 1～6月	8.5	11.4	0.8	2.5	8.1	-2.9

資料出所 農林水産省「農家就業動向調査」

第73表-2 産業別にみた農家就業者の増減

第73表—2 産業別にみた農家就業者の増減

(単位 千人)

区 分	産 業 計	建設業	製造業	卸 売・ 小売業	サービ ス業
A 他産業への就職者					
48 年	406.9	105.4	151.3	45.5	56.3
49	290.2	75.1	99.5	35.7	42.6
50	254.5	59.4	84.3	34.5	44.9
51	207.8	44.5	68.3	31.2	36.9
52	221.6	50.0	67.4	35.6	39.7
B 他産業からの離 職就農者					
48 年	283.4	59.5	98.1	39.3	43.4
49	239.4	44.5	100.0	26.7	34.7
50	228.3	38.0	95.3	30.0	32.7
51	205.7	37.8	73.2	30.9	33.1
52	245.5	42.7	87.4	37.6	40.3
C (B-A)純増減					
48 年	-123.5	-45.9	-53.2	-6.2	-12.9
49	-50.8	-30.6	0.5	-9.0	-7.9
50	-26.2	-21.4	11.0	-4.5	-12.2
51	-2.1	-6.7	4.9	-0.3	-3.8
52	23.9	-7.3	20.0	2.0	-0.6

資料出所 農林水産省「農家就業動向調査」

(注) 「他産業への就職」には新規学卒者は含まない。

第74表 非農林業雇用者,自営業主,家族従業者の増減状況

第74表 非農林業雇用者、自営業主、家族従業者の増減状況
(単位 千人)

区 分	男 子					女 子				
	入職 超過	入 職		離 職		入職 超過	入 職		離 職	
		新規	転入	転出	離職		新規	転入	転出	離職
雇 用 者										
43 年	436	811	992	1,047	320	188	1,152	498	541	921
46	344	753	1,045	1,075	379	15	1,101	571	595	1,062
49	372	819	1,188	1,225	410	91	1,292	663	670	1,194
52	371	972	838	892	547	293	1,415	486	505	1,103
自 営 業 主										
43 年	28	26	109	58	49	-29	116	44	34	155
46	26	24	108	57	49	-27	125	46	30	168
49	44	40	129	69	56	-98	127	42	41	226
52	41	52	86	54	43	32	167	40	40	135
家 族 従 業 者										
43 年	29	39	23	23	10	1	54	36	17	72
46	4	23	21	29	11	-10	60	33	25	78
49	-5	23	14	29	13	-35	58	32	24	101
52	20	27	16	14	9	31	71	28	14	54
製 造 業 自 営 業 主・家 族 従 業 者										
43 年	20	17	33	19	11	-1	65	26	17	75
49	6	13	28	19	16	-80	74	29	31	152
52	6	12	17	11	12	-11	100	26	28	87
卸 売・小 売 業 自 営 業 主・家 族 従 業 者										
43 年	22	21	52	34	25	3	54	32	18	65
49	9	22	52	42	23	-8	59	33	21	79
52	30	33	46	31	18	43	79	28	17	47
サ ー ビ ス 業 自 営 業 主・家 族 従 業 者										
43 年	9	11	18	11	9	-33	46	20	15	84
49	16	13	27	13	11	-45	43	12	14	86
52	15	17	17	9	10	1	47	11	8	49

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

第75表 年間所得階級別にみた男子非農林業有業者の分布

第75表 年間所得階級別にみた男子非農林業有業者の分布

(自営業主と雇用者の比較, 昭和52年)

(単位 %))

年齢・従業上の地位	計	100万円未満	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～399万円	400～499万円	500～699万円	700万円以上
年齢階級別										
自営業主	100.0	10.1	12.5	15.2	15.0	9.4	15.7	7.3	7.0	7.3
雇用者	100.0	6.1	14.3	19.4	18.3	12.9	16.8	6.5	4.0	1.7
25～34歳										
自営業主	100.0	7.6	15.8	19.4	18.6	9.7	14.0	5.6	5.1	4.4
雇用者	100.0	3.0	12.4	25.0	27.9	16.9	12.0	1.9	0.7	0.2
35～44歳										
自営業主	100.0	5.9	11.0	15.9	16.8	10.8	18.3	8.3	7.3	6.7
雇用者	100.0	2.2	7.4	12.8	17.2	17.1	27.1	9.5	5.0	1.5
45～54歳										
自営業主	100.0	7.5	11.2	14.0	14.8	9.9	17.0	8.2	8.1	9.3
雇用者	100.0	3.6	8.2	11.2	12.3	10.9	25.1	14.7	10.0	3.8
55歳以上										
自営業主	100.0	22.0	12.7	12.4	10.8	7.1	12.7	6.6	7.3	8.5
雇用者	100.0	17.0	18.5	15.3	11.3	7.3	12.3	7.2	6.5	4.7

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

(注) 構成比は所得不詳を除いた者を100.0として算出した。

第76表 希望職種,希望理由別にみた転職希望者

第76表 希望職種、希望理由別にみた転職希望者
(昭和52年、構成比)

(希望する仕事の種類) (単位 %)

区分	計	短時間勤務	普通勤務	自分で仕事	自家営業を手伝い	内職	その他
計	100.0 (4,085)	11.5	39.6	26.3	2.5	3.7	16.4
自営業主	100.0 (438)	16.4	27.4	26.9	1.1	10.3	17.8
うち45歳以上	100.0 (148)	11.5	25.7	27.7	1.4	9.5	23.6
雇用者	100.0 (3,428)	10.8	41.6	27.1	2.3	2.5	15.7
うち45歳以上	100.0 (619)	17.0	43.5	18.7	1.8	5.0	13.6

(転職希望理由) (単位 %)

区分	計	一時的について仕事	収入が少ない	将来性がない	定年にそなえて	時間的・肉体的に負担	知識・技能を生かしたい	活用できる時間がある	家事・健康上の理由	その他
計	100.0	10.9	25.0	15.5	3.5	23.2	7.4	0.2	7.2	7.0
自営業主	100.0	8.0	42.3	13.5	0.5	22.4	2.1	0.2	7.8	3.2
うち45歳以上	100.0	2.7	43.9	14.9	0.7	23.0	0.7	0.0	11.5	2.7
雇用者	100.0	11.6	22.5	15.8	4.1	22.9	8.2	0.2	7.1	7.5
うち45歳以上	100.0	7.6	23.1	8.2	13.7	27.9	3.1	0.2	12.3	3.6

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

(注) ()内は転職希望者数である(単位 千人)。

第77表 従業上の地位、従業者階級別にみた転職希望率

第77表 従業上の地位、従業者階級別にみた転職希望率

(単位 %)

性・年	計	自営 業主	家族 従業者	雇 用 者								
				計	1~4 人	5~ 29人	30~ 99人	100~ 499人	500~ 999人	1,000 人以上	官公 庁	
男 子												
46年	4.4	1.9	3.1	5.2	6.7	6.5	6.3	6.1	5.7	4.0	2.4	
49	4.7	2.3	2.8	5.4	7.9	6.9	6.9	5.9	5.1	4.1	1.6	
52	7.3	3.6	4.0	8.5	10.9	11.3	11.0	10.0	8.7	5.6	2.3	
女 子												
46年	4.6	3.7	1.8	6.3	7.3	6.4	6.7	6.5	6.4	7.4	2.7	
49	5.4	4.3	1.8	7.1	7.8	7.3	7.0	7.1	8.2	8.9	2.6	
52	8.1	6.9	3.5	10.2	12.1	10.7	11.7	9.0	11.7	10.7	3.7	

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

第78表 新規求職者と繰越求職者の推移

第78表 新規求職者と繰越求職者の推移

(対前年同期増減率)

(単位 %)

期 間	計		男 女 別				年 齢 別			
			男		女		45歳未満		45歳以上	
	新規	繰越	新規	繰越	新規	繰越	新規	繰越	新規	繰越
51年 4~ 6月	-0.4	-1.2	0.4	8.3	-0.4	-11.9	1.5	-7.3	-4.6	8.4
7~ 9	1.6	-13.9	0.8	-9.7	2.5	-18.7	3.3	-18.9	-3.2	-6.5
10~12	-1.6	-8.5	-0.3	-4.0	0.8	-13.6	-0.4	-14.7	-3.9	0.9
52年 1~ 3月	10.0	-6.3	10.6	-5.8	9.2	-6.9	9.0	-7.3	12.8	-4.9
4~ 6	6.9	-3.2	4.0	-5.9	10.9	0.4	6.7	-1.1	7.5	-6.1
7~ 9	8.6	4.3	6.9	0.4	10.8	9.3	6.7	7.0	13.9	0.8
10~12	0.0	9.2	-2.9	5.4	4.4	14.0	-0.1	10.7	0.2	7.5
53年 1~ 3月	4.4	4.7	3.2	1.6	6.0	9.4	0.7	2.3	13.5	7.8
4~ 6	1.2	7.0	6.1	5.0	1.0	9.6	-1.7	2.3	7.7	13.6
7~ 9	-0.4	6.5	-5.8	6.2	-1.7	6.9	-5.0	1.8	-1.3	13.0
10~12	-7.7	1.8	-9.5	1.3	-5.0	2.4	-9.4	-2.7	-4.2	7.8
54年 1~ 3月	-3.0	-2.1	-3.4	-2.8	-2.4	-1.0	-4.7	-5.3	0.8	2.0

資料出所 労働省「職業安定業務統計」

第79表 - 1 雇用の変動に伴う失業者等増減の国際比較

第79表-1 雇用の変動に伴う失業者等増減の国際比較

(男子)

(単位 万人)

国・年	(1) 人口増	(2)非農 林漁業 雇用者 増加	(3) (1)-(2)	完 全 失業者	農林漁 業就業 者	非農林漁業		非労働力 人口
						自 業 主	家 族 従 業 者	
日 本								
1973年	44	67	-23	-5	-32	10	-2	4
1974	54	39	15	3	-9	5	-4	19
1975	53	13	40	19	-10	1	-3	29
1976	48	29	19	8	-3	3	-2	18
1977	46	7	39	-2	-3	8	1	33
1978	46	6	40	9	-1	14	-1	15
アメリカ								
1973年	115.6	115.3	0.3	-39.5	-0.6	5.2	0.4	34.8
1974	123.3	22.9	100.4	42.8	6.7	15.6	-1.0	36.3
1975	124.1	-125.7	249.8	171.7	-9.9	-0.8	0.4	88.4
1976	124.5	119.7	4.8	-41.5	-8.5	-0.2	-0.3	55.3
1977	124.2	134.2	-10.0	-38.0	-7.7	18.0	0.4	17.3
1978	118.8	139.4	-20.6	-53.7	4.2	18.1	-1.2	12.0
西ドイツ								
1973年	26.6	-1.4	28.0	1.0	-4.9	0.1	-0.2	32.0
1974	15.2	-34.3	49.5	17.5	-3.3	-1.4	0.0	36.7
1975	0.7	-56.8	57.5	29.8	-2.5	-3.7	-0.1	34.0
1976	3.3	-8.8	12.1	-5.6	-2.6	-2.5	-0.6	23.4
1977	—	-4.3	—	-4.9	-4.1	0.4	0.3	—

資料出所 日 本 総理府統計局「労働力調査」

アメリカ 労働省“Employment and Earnings”

西ドイツ 労働社会省“Arbeits- und Sozialstatistik”

(注) 1) 非農林漁業雇用者は軍隊に所属する者を含む。

2) アメリカは農業、非農業の区分による。

第79表-2 雇用の変動に伴う失業者等増減の国際比較

(女子)

(単位 万人)

国・年	(1) 人口増	(2)非農 林漁業 雇用者 増加	(3) (1)-(2)	完 全 失業者	農林漁 業就業 者	非農林漁業		非労働力 人口
						自 営 業 主	家 族 従業者	
日 本								
1973年	59	58	1	-1	-24	18	1	5
1974	49	-15	64	2	-19	-15	-3	95
1975	48	-5	53	8	-6	-12	3	60
1976	48	35	13	0	-15	7	-4	24
1977	46	47	-1	4	-7	5	9	-13
1978	49	30	19	5	1	8	13	-3
アメリカ								
1973年	133.1	133.8	-0.7	-14.1	-1.4	4.2	1.6	9.0
1974	133.3	100.5	32.8	34.4	-2.7	5.2	-4.3	0.2
1975	137.9	18.0	119.9	103.7	-1.3	0.0	-1.0	18.5
1976	135.5	150.9	-15.4	-12.5	0.3	6.4	-1.7	-7.9
1977	126.8	141.9	-15.1	-5.3	2.3	13.8	2.0	-27.9
1978	131.3	204.1	-72.8	-27.1	5.6	11.8	-0.8	-62.3
西ドイツ								
1973年	21.6	15.2	6.4	1.8	-3.5	-0.1	0.5	7.7
1974	19.2	-5.8	25.0	13.4	-3.9	-0.3	-0.7	16.5
1975	8.7	-19.4	28.1	19.4	-3.4	-0.1	-3.2	15.4
1976	8.3	0.9	7.4	4.2	-5.4	-0.9	-1.8	11.3
1977	—	6.7	—	1.8	-4.6	1.2	-2.3	—

資料出所 日 本 総理府統計局「労働力調査」

アメリカ 労働省 “Employment and Earhigs”

西ドイツ 労働社会省 “Arbeits- und Sozialstatistik”

(注) 第79表-1 に同じ。

第80表-1 長時間就業希望短時間就業者および就業希望非労働力人口

第 80 表—1 長時間就業希望短時間就業者および就業希望非労働力人口

(日本, 昭和53年)

(単位 万人)

性・年齢	(1) 完全 失業者	(2) 短時間就業者 中長時間 就業希望者	(3) 就業希望 者非労働 力人口	(4) うち 「すぐ仕事 につくつも り」の者	(5) (2)+(4)
計	141	71	900	175	246
男子					
年齢計	90	28	149	39	67
(うち世帯主)	50	17	51	17	34
15 ~ 24 歳	23	6	67	14	20
25 ~ 34	20	6	12	4	10
35 ~ 44	16	5	8	2	7
45 ~ 54	14	7	11	2	9
55 歳以上	18	5	52	17	22
女子					
年齢計	50	43	751	136	179
(うち世帯主の配偶者)	22	31	557	95	126
15 ~ 24 歳	14	4	101	20	24
25 ~ 34	15	14	279	37	51
35 ~ 44	9	15	183	34	49
45 ~ 54	7	7	109	26	33
55 歳以上	5	4	80	18	22

資料出所 総理府統計局「労働力調査特別調査」

(注) 短時間就業者とは週35時間未満就業者で、長時間就業希望とは週35時間以上の就業を希望する場合をさす。

第80表-2 経済的理由によるパートタイム労働者および就業を希望する非労働力人口

第80表-2 経済的理由によるパートタイム労働者および就業を希望する非労働力人口（アメリカ，1975年）

（単位 千人）

性・年齢	(1) 完全失業者	(2) 経済的理由によるパートタイム労働者	(3) 就業希望非労働力人口	(4) (2)+(3)
計	7,830	3,740	5,196	8,936
男子				
年齢計	4,385	1,735	1,642	3,377
16～19歳	957	318	690	1,008
20～24	1,059	231	281	512
25～44	1,465	620	} 672	1,749
45歳以上	905	457		
女子				
年齢計	3,445	1,755	3,553	5,308
16～19歳	795	318	787	1,105
20～24	769	325	567	892
25～44	1,218	603	} 2,198	3,310
45歳以上	662	509		

資料出所 アメリカ労働省 “Employment and Earnings”

(注) 1) 経済的理由によるパートタイム労働者の男女別，年齢別は非農業に従事している者に限る。

2) 就業希望非労働力人口は “Persons not in labor force who want a job now” である。

第81表 年齢,離職理由別をとみた離職者数

第81表 年齢，離職理由別にみた

性・年齢	実 数 (単位 千人)				
	計	企業都合	契約期間満了	経営上の都合	定 年
男 女 計	8,946.2	1,585.8	580.0	703.9	301.9
男 子	4,339.9	937.6	275.4	417.4	244.8
20歳未満	289.1	22.3	16.4	5.9	—
20～29歳	1,697.4	157.4	73.0	84.4	—
30～44	1,146.7	174.8	66.1	108.7	—
45～54	462.8	152.3	65.8	86.5	—
55歳以上	743.8	430.5	54.1	131.7	244.7
女 子	4,606.3	648.5	304.7	286.6	57.2
20歳未満	287.1	22.9	16.2	6.7	—
20～29歳	2,382.8	139.5	84.3	55.2	—
30～44	1,136.2	210.4	108.9	101.5	—
45～54	507.6	147.9	62.6	76.6	8.7
55歳以上	292.8	127.7	32.7	46.6	48.4

資料出所 労働省「雇用動向調査」

(注) 自己都合は「本人の責」, 「個人的な理由」, 「死亡・傷病その他」を合

離職者数 (昭和51年～53年上期)

自己都合	構 成 比 (単位 %)					自己都合
	計	企業都合	契約期間満了	経営上の都合	定年	
7,360.4	100.0	17.7	6.5	7.9	3.4	82.3
3,402.3	100.0	21.6	6.3	9.6	5.6	78.4
266.8	100.0	7.8	5.7	2.0	—	92.2
1,540.0	100.0	9.3	4.3	5.0	—	90.7
971.9	100.0	15.2	5.8	9.5	—	84.8
310.5	100.0	32.9	14.2	18.7	—	67.1
313.3	100.0	57.9	7.3	17.8	32.9	42.1
3,957.8	100.0	14.1	6.6	6.2	1.2	85.9
264.2	100.0	8.0	5.6	2.3	—	92.0
2,243.3	100.0	5.9	3.5	2.3	—	94.1
925.8	100.0	18.5	9.6	8.9	—	81.5
359.7	100.0	29.1	12.3	15.1	1.7	70.9
165.1	100.0	43.6	11.2	15.9	16.5	56.4

第82表 年齢,規模別にみた継続就業率

第 82 表 年齢、規模別にみた継続就業率

性・ 年齢	製造業生産労働者								製造業管理			
	規模計		1,000人以上		100~999人		10~99人		規模計		1,000	
	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	
男子												
年齢計	59.6	63.6	77.3	70.3	56.5	61.5	45.2	57.4	88.2	77.2	106.0	
20~24歳	40.2	45.2	71.0	52.8	32.9	43.3	26.4	34.2	74.7	83.4	108.1	
25~29	58.8	62.3	78.4	72.6	53.4	57.8	40.6	47.5	94.6	86.8	116.5	
30~34	63.2	68.4	81.0	76.0	61.3	67.9	44.4	57.6	96.8	84.6	115.3	
35~39	67.9	73.6	84.1	80.6	65.3	72.2	53.7	65.2	99.8	84.8	122.7	
40歳以上	63.9	62.3	73.9	62.8	68.1	61.5	52.7	61.4	78.4	68.7	91.5	
40~44歳	—	75.4	—	78.5	—	75.3	—	72.7	—	86.8	—	
45~54	—	73.8	—	76.0	—	73.4	—	71.7	—	75.8	—	
55歳以上	—	33.2	—	22.3	—	29.5	—	40.3	—	33.1	—	
女子												
年齢計	34.2	43.7	32.8	30.7	33.4	44.3	35.7	50.6	30.9	35.7	40.4	
20~24歳	23.8	24.0	28.9	21.5	22.3	27.9	17.3	22.2	37.3	39.2	74.2	
25~29	15.6	23.2	20.1	24.4	15.3	23.8	11.2	20.2	18.0	19.4	23.3	
30~34	28.8	40.2	34.1	39.5	31.0	40.8	24.7	40.0	28.9	32.9	29.8	
35~39	49.5	60.0	54.9	51.3	53.6	60.7	45.6	62.5	48.2	65.7	59.6	
40歳以上	53.6	56.7	70.4	45.1	56.4	61.4	50.0	57.7	42.5	62.1	57.4	
40~44歳	—	69.6	—	60.6	—	93.0	—	72.5	—	72.9	—	
45~54	—	61.1	—	48.5	—	62.3	—	62.9	—	68.9	—	
55歳以上	—	36.8	—	13.3	—	31.8	—	41.5	—	39.0	—	

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」

労働省労政局労働経済課試算

- (注) 1) 継続就業率は47年、53年における勤続5年以上労働者数を5年前の労働
2) 年齢別残存率は同一出生世代間で求めた。表章した年齢は47年、53年に

(昭和42~47年間と48~53年間の比較)

(単位 %)

・事務・技術労働者					卸 売 ・ 小 売 業									
人以上		100~999人		10~99人		規 模 計		1,000人以上		100~999人		10~99人		
53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年	47年	53年
79.4	82.7	78.4	61.3	70.4	66.5	63.9	102.3	71.1	86.2	65.8	45.2	58.7		
79.4	70.7	92.5	40.3	76.2	35.4	52.6	79.6	74.8	56.9	56.5	21.7	40.4		
93.6	86.4	83.9	57.4	71.8	61.2	57.3	91.9	79.2	77.7	54.9	39.7	49.2		
89.2	90.4	81.4	65.1	78.6	76.1	66.9	104.8	73.5	92.6	67.1	54.5	62.3		
87.7	93.3	84.1	70.1	78.6	81.3	72.8	115.2	74.3	109.2	75.7	55.2	69.2		
67.8	73.9	72.3	59.9	65.3	67.1	62.1	106.1	61.5	91.1	61.6	51.6	35.8		
87.8	—	89.0	—	81.3	—	77.1	—	74.9	—	84.3	—	72.6		
74.1	—	80.6	—	73.2	—	66.3	—	65.2	—	72.1	—	62.4		
22.7	—	35.6	—	43.4	—	36.4	—	30.5	—	43.6	—	42.7		
33.3	27.1	31.8	25.5	43.7	25.6	30.1	36.9	32.7	27.6	25.2	21.6	32.6		
48.2	29.9	36.3	16.1	21.9	19.2	25.5	40.6	35.4	22.8	24.1	12.1	19.0		
21.6	15.5	17.4	12.7	18.0	15.2	16.2	22.7	21.5	17.1	15.1	10.6	13.2		
27.3	30.5	31.8	26.9	40.7	23.7	24.6	37.5	33.0	22.6	21.7	20.6	22.7		
71.6	45.9	61.8	44.2	65.5	34.8	51.9	59.4	64.1	38.8	49.7	30.1	50.3		
62.6	41.3	58.2	36.6	46.4	53.7	57.4	85.3	70.2	72.2	52.3	44.7	57.1		
83.6	—	67.6	—	71.9	—	61.8	—	86.6	—	59.7	—	58.0		
71.7	—	66.3	—	68.8	—	61.8	—	79.2	—	54.0	—	61.6		
24.7	—	34.3	—	48.2	—	47.8	—	40.0	—	43.7	—	50.4		

者数で除したものである。
おける年齢である。

第83表-1 離職理由別にみた離職者の帰すう

第 83 表—1 離職理由別にみた離職者の帰すう
(昭和49年～53年3月)

性・ 離職理由	実 数 (単位 万人)					構 成 比 (単位 %)			
	計	就業者	完 全 失業者	非労働力人口		就業者	完 全 失業者	非労働力人口	
				就業 希望	就 業 非希望			就業 希望	就 業 非希望
男 子									
離職理由計	673	474	64	61	74	70.4	9.5	9.1	11.0
非自発的な理由	280	200	40	21	19	70.9	14.2	7.4	6.7
人員整理・会社倒産など	68	47	15	4	2	69.1	22.1	5.9	2.9
事業不振・先行き不安	82	71	9	1	1	86.6	11.0	1.2	1.2
その他勤め先・事業の都合	58	47	9	1	1	81.0	15.5	1.7	1.7
定 年 等	74	36	8	15	15	48.6	10.8	20.3	20.3
自発的な理由	392	273	24	39	56	70.2	6.2	10.0	14.4
より良い条件の仕事を探す	128	112	14	1	1	87.5	10.9	0.8	0.8
家事・通学・健康上の理由	122	51	4	28	39	41.8	3.3	23.0	32.0
そ の 他	139	109	5	10	15	78.4	3.6	7.2	10.8
女 子									
離職理由計	727	285	24	223	195	39.2	3.3	30.7	26.8
非自発的な理由	124	73	8	27	17	57.6	6.4	21.6	13.6
人員整理・会社倒産など	40	24	3	10	3	60.0	7.5	25.0	7.5
事業不振・先行き不安	26	19	1	4	2	73.1	3.8	15.4	7.7
その他勤め先・事業の都合	39	24	3	9	3	61.5	7.7	23.1	7.7
定 年 等	20	6	1	4	9	30.0	5.0	20.0	45.0
自発的な理由	603	213	16	196	178	35.4	2.7	32.6	29.6
より良い条件の仕事を探す	74	62	4	7	1	83.8	5.4	9.5	1.4
家事・通学・健康上の理由	308	64	7	126	111	20.8	2.3	40.9	36.0
そ の 他	220	87	4	63	66	39.5	1.8	28.6	30.0

資料出所 総理府統計局「労働力調査特別調査」

第83表-2 年齢別にみた男子離職者の帰すう

第 83 表—2 年齢別にみた男子離職者の帰すう

(昭和49年～53年3月, 構成比)

(単位 %))

離職理由・年齢	計	就業者	完全失業者	非労働力人口
企業都合				
計	100.0 (206)	79.6	15.5	4.9
15 ～ 24 歳	100.0 (19)	78.9	15.8	5.3
25 ～ 34	100.0 (74)	83.8	13.5	2.7
35 ～ 44	100.0 (55)	81.8	14.5	3.6
45 ～ 54	100.0 (37)	75.7	21.6	2.7
55 歳以上	100.0 (24)	62.5	16.7	20.8
より良い条件の仕事を探す				
計	100.0 (128)	87.5	10.9	1.6
15 ～ 24 歳	100.0 (26)	73.1	23.1	3.8
25 ～ 34	100.0 (58)	94.8	5.2	0.0
35 ～ 44	100.0 (29)	86.2	10.3	3.4
45 ～ 54	100.0 (10)	90.0	10.0	0.0
55 歳以上	100.0 (5)	80.0	20.0	0.0

資料出所 総理府統計局「労働力調査特別調査」

(注) 1) () 内は離職者数である(単位 万人)。

2) 企業都合による離職者とは、非自発的な理由による離職者から定年による離職者を除いたものである。

第83表-3 産業別にみた離職者の帰すう

第 83 表—3 産業別にみた離職者の帰すう

(昭和49年～52年3月)

(単位 万人)

性・ 前職の産業	計	就業者							完全失業者	非労働力人口	構成比 (単位%)						
		産業計	農林業	2次産業	(製造業)	3次産業	卸売・小売業	(サービス業)			就業者	完全失業者	非労働力人口				
男子																	
産業計	481	323	8	127	77	187	87	46	59	99	67.2	12.3	20.6				
農林業	31	8	1	4	2	3	1	1	1	22	25.8	3.2	71.0				
2次産業	194	135	3	83	49	50	20	14	29	30	69.6	14.9	15.5				
製造業	123	90	2	52	43	33	16	10	18	15	73.2	14.6	12.2				
3次産業	256	180	4	40	26	134	66	31	29	47	70.3	11.3	18.4				
卸売・小売業	114	82	1	17	12	61	47	8	11	21	71.9	9.6	18.4				
サービス業	58	36	1	9	6	24	6	15	9	13	62.1	15.5	22.4				
女子																	
産業計	539	184	5	59	51	120	68	41	24	331	34.1	4.5	61.4				
農林業	52	6	1	3	2	2	0	1	0	46	11.5	0.0	88.5				
2次産業	164	67	2	35	32	30	15	10	9	88	40.9	5.5	53.7				
製造業	148	62	2	33	31	27	13	9	8	78	41.9	5.4	52.7				
3次産業	323	111	3	21	17	88	52	29	15	197	34.4	4.6	61.0				
卸売・小売業	162	60	1	11	9	48	36	10	7	95	37.0	4.3	58.6				
サービス業	108	36	1	5	4	30	13	15	5	67	33.3	4.6	62.0				

資料出所 総理府統計局「労働力調査特別調査」

(注) 2次産業は建設業，製造業を合計したもの，3次産業は非農林業から2次産業を差し引いたものである。

第83表-4 従業上の地位別にみた離職者の帰すう

第83表—4 従業上の地位別にみた離職者の帰すう

(実数)

(昭和49年～53年3月)

(単位 万人)

性・前職の従業上の地位	計	就業者				完全失業者	非労働力人口
		雇用者	自営業主	家族従業者			
男子							
計	673	474	409	56	9	64	135
雇用者	576	425	369	47	8	59	92
自営業主	70	34	28	6	0	4	32
家族従業者	28	15	12	2	1	1	12
女子							
計	727	285	234	25	25	24	418
雇用者	533	231	196	14	21	22	280
自営業主	99	35	24	10	1	1	63
家族従業者	93	18	14	1	2	1	74

(構成比)

(単位 %)

性・前職の従業上の地位	計	就業者				完全失業者	非労働力人口
		雇用者	自営業主	家族従業者			
男子							
計	100.0	70.4	60.8	8.3	1.3	9.5	20.1
雇用者	100.0	73.8	64.1	8.2	1.4	10.2	16.0
自営業主	100.0	48.6	40.0	8.6	0.0	5.7	45.7
家族従業者	100.0	53.6	42.9	7.1	3.6	3.6	42.9
女子							
計	100.0	39.2	32.2	3.4	3.4	3.3	57.5
雇用者	100.0	43.3	36.8	2.6	3.9	4.1	52.5
自営業主	100.0	35.4	24.2	10.1	1.0	1.0	63.6
家族従業者	100.0	19.4	15.1	1.1	2.2	1.1	79.6

資料出所 総理府統計局「労働力調査特別調査」

第84表 有業者の長期的変化

第 84 表 有業者の長期的変化

(単位 年率%)

産 業	男 女 計			男 子			女 子		
	34~ 40年	40~ 46年	49~ 52年	34~ 40年	40~ 46年	49~ 52年	34~ 40年	40~ 46年	49~ 52年
全 産 業	1.3	2.1	1.5	1.4	1.9	1.1	1.2	2.3	2.2
農 業	-4.6	-4.9	-3.6	-5.5	-5.4	-3.4	-3.9	-4.5	-3.8
林 業・狩 猟 業	-5.7	-3.8	-0.7	-5.9	-3.8	-2.0	-4.9	-3.8	4.8
非 農 林 業	4.1	3.9	2.2	3.7	3.3	1.5	4.9	5.2	3.5
漁 業・水産養殖業	-1.5	-2.0	-1.0	-2.5	-2.4	-1.0	4.0	-0.3	-1.4
鉱 業	-8.4	-8.9	-5.6	-8.6	-9.0	-4.3	-5.4	-8.0	-14.0
建 設 業	5.0	6.0	2.2	4.7	6.1	1.9	7.2	5.2	4.4
製 造 業	5.7	3.5	0.0	5.4	2.7	-0.7	6.4	5.2	1.3
食 料 品・たばこ	4.0	1.2	2.6	2.5	0.2	1.7	6.6	2.7	3.5
織 維・衣 服	3.0	2.7	1.6	2.1	1.8	0.6	3.5	3.2	2.1
木 材・家 具	0.7	1.4	0.0	-0.6	-0.2	-0.4	6.5	6.2	0.8
パ ル プ・紙	3.4	1.9	-1.5	3.8	0.9	-1.9	2.5	3.8	-0.5
出 版・印 刷	4.7	2.4	1.8	4.0	1.5	0.9	7.6	5.5	4.1
化 学	3.8	2.9	0.5	3.6	3.2	0.8	4.2	2.2	-0.1
窯 業・土 石	5.2	4.1	1.7	4.7	3.7	2.0	6.3	5.0	0.6
鉄 鋼	} 8.3	2.3	-6.8	} 8.3	1.7	-6.5	} 8.7	8.1	-8.1
非 鉄		5.8	1.0		5.3	1.0		8.5	0.7
金 属	10.5	4.0	0.1	10.2	2.8	-0.5	12.2	8.7	2.0
電 機	11.9	7.5	-1.3	10.3	5.9	-2.1	15.2	10.1	-0.1
輸 送 機 械	7.1	4.3	-0.2	6.6	4.3	-0.5	12.2	8.3	1.7
一 般 機 械	5.7	3.0	-4.0	5.6	2.7	-3.8	5.9	4.6	-4.7
精 機	1.3*	4.0	2.8	-0.4*	3.8	3.1	5.2*	6.8	2.6
そ の 他	5.2	4.8	1.3	6.3	3.1	0.7	3.4	7.5	2.1

(つづき)

産 業	男 女 計			男 子			女 子		
	34~ 40年	40~ 46年	49~ 52年	34~ 40年	40~ 46年	49~ 52年	34~ 40年	40~ 46年	49~ 52年
卸 売・小 売 業	3.5	4.4	3.9	3.1	3.8	3.5	4.0	5.4	4.4
卸 売 業	6.9	3.5	1.8	6.1	2.7	1.6	9.6	5.4	2.2
飲 食 料 品 小 売 業	0.6	0.4	5.4	-0.2	-0.8	4.0	1.5	1.5	6.4
飲 食 店	3.0	8.9	6.3	4.7	10.0	6.9	2.2	8.2	5.8
その他(飲食料品, 飲食店を除く)小 売業	2.8	6.2	4.0	1.7	5.9	4.3	4.3	6.5	3.7
金融・保険・不動産業	8.4	4.0	2.0	6.5	3.0	1.0	11.9	5.3	3.3
運 輸・通 信 業	4.5	2.8	0.9	4.4	2.9	0.9	5.1	1.7	1.1
鉄 道 業	-0.8	-0.4	-1.3	-0.8	-0.2	-1.4	0.0	-7.9	-4.7
運 送・倉 庫 業	8.3	4.7	1.2	8.2	4.8	0.9	9.5	4.3	3.1
通 信 業	2.5	0.2	2.0	2.8	0.6	3.1	1.2	-0.9	-1.7
電 気・ガ ス・水 道・ 熱供給業	0.9	1.7	5.1	0.7	1.3	5.0	3.8	5.3	5.1
サ ー ビ ス 業	2.7	5.4	4.5	2.4	4.7	3.8	3.1	6.2	5.3
対個人サービス業	1.2	2.6	1.3	1.7	-0.3	2.3	0.9	4.2	0.7
対事業所サービス 業	6.6	10.9	6.2	5.4	10.1	5.8	9.6	12.5	6.9
修 理 業	4.2	5.7	2.2	3.6	4.7	1.9	11.7	13.0	3.8
医 療 業	2.2	4.9	7.7	-0.3	2.3	7.0	3.9	6.2	8.1
教 育	2.8	2.4	3.7	2.0	1.9	3.1	4.0	3.0	4.4
その他(社会福祉 清掃等)サービス	3.0	9.0	5.8	2.7	8.6	3.8	3.4	9.6	8.3
公 務	3.4	2.0	1.3	2.9	1.7	0.8	6.2	3.2	3.3
1 次 産 業	-4.5	-4.7	-3.3	-5.3	-5.0	-3.1	-3.8	-4.4	-3.6
2 次 産 業	5.0	3.8	0.5	4.5	3.3	0.1	6.3	5.1	1.5
3 次 産 業	3.6	4.2	3.4	3.3	3.5	2.7	4.2	5.4	4.5

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

(注) * は37~40年の年率値である。

第85表 有業者ベースの女子比率の推移

第 85 表 有業者ベースの女子比率の推移 (男子=100)

産 業	31年	34	40	46	49	52
全 産 業	64.1	59.6	58.8	60.2	57.9	59.9
農 林 業	103.9	97.8	108.2	113.6	105.8	104.6
農 業	107.8	101.4	112.1	118.3	110.0	108.7
林 業・狩 猟 業	20.3	17.7	18.9	18.8	21.2	25.9
非 農 林 業	44.9	44.0	47.2	52.8	52.5	55.5
漁 業・水 産 養 殖 業	17.3	15.8	23.4	26.6	25.5	25.2
鉱 業	10.1	9.3	11.5	12.3	16.9	12.3
石 炭・亜 炭 鉱 業	—	—	8.7	—	10.8	7.1
そ の 他 の 鉱 業	—	—	15.1	—	19.4	15.3
建 設 業	10.1	11.2	12.9	12.2	13.4	14.4
製 造 業	44.6	43.2	45.7	52.9	52.3	55.4
食 料 品・た ば こ	53.1	55.2	69.8	80.9	84.8	89.4
織 維・衣 服	167.7	164.5	179.1	194.5	180.8	188.5
木 材・家 具	17.7	18.2	27.4	39.7	41.6	43.1
パ ル プ・紙	50.3	49.5	46.0	54.4	49.4	51.5
出 版・印 刷	25.4	23.1	28.4	35.6	34.2	37.5
化 学	33.3	35.7	36.9	34.8	34.6	33.7
窯 業・土 石	34.5	34.4	37.6	40.6	40.7	39.0
鉄 鋼	} 12.8 }	} 10.4 }	(8.5)	(12.2)	(12.1)	(11.5)
非 鉄			18.6	14.7	(25.3)	(25.0)
金 属			(19.6)	(23.4)		
一 般 機 械	17.9	17.5	17.8	19.9	21.3	20.7
電 機	31.9	43.8	57.1	72.2	69.9	74.4
輸 機	9.3	9.3	12.7	15.9	16.7	17.8
精 機	—	—	53.5	63.3	62.4	61.6
そ の 他	—	68.6	58.2	75.0	73.0	76.0

(つづき)

産 業	31年	34	40	46	49	52
卸・売・小売業	70.8	69.6	73.1	80.2	78.5	80.5
卸売業	26.6	28.7	35.0	40.9	40.8	41.5
飲食料品小売業	94.1	91.6	101.8	117.2	119.2	127.2
飲食店	214.3	196.7	169.5	153.0	141.1	137.0
その他(飲食料品, 飲食店を除く)小売業	71.2	72.0	84.1	87.2	84.9	83.2
金融・保険・不動産業	46.7	50.5	68.1	77.7	76.4	81.6
金融・保険	—	—	—	—	—	90.5
不動産	—	—	—	—	—	52.9
運輸通信業	14.1	14.2	14.7	13.7	13.1	13.1
鉄道業	5.5	3.8	3.9	2.4	2.7	2.5
運送・倉庫業	11.5	12.9	13.9	13.5	11.9	12.7
通信業	35.1	34.1	31.1	28.5	29.6	25.7
電気・ガス・水道・熱供給業	10.7	8.5	10.2	12.9	13.2	13.3
サービス業	85.8	81.8	85.0	92.5	93.4	97.5
対個人サービス業	175.8	166.2	158.8	208.1	190.0	181.4
対事業所サービス業	12.9	37.0	46.9	53.3	52.2	53.9
修理業	—	6.7	10.5	16.6	18.9	20.0
医療業	124.0	131.3	167.8	209.7	222.7	229.6
教育	61.5	59.0	66.5	70.8	75.7	78.7
その他(社会福祉清掃等)サービス業	71.4	62.0	64.6	68.5	74.0	84.1
公務	17.6	17.7	21.5	23.5	21.2	22.7
1次産業	98.4	92.3	101.4	105.4	97.4	95.8
2次産業	33.7	33.4	36.9	41.0	40.3	42.0
3次産業	55.7	54.4	57.3	63.8	63.3	66.7

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

第86表 性・年齢別,職業別就業者の増減

第86表 性・年齢別，職業

(40～45年)

職 業	男			子		
	計	15～24歳	25～39	40～49	50～54	55～
計	2,697	63	848	1,351	-16	451
専門的・技術的	526	124	184	180	-9	46
管理的職業	656	7	207	257	54	131
事務従事者	158	-40	-7	142	2	61
販売従事者	496	73	352	52	-15	34
農林・漁業作業	-969	-92	-621	17	-76	-197
採鉱・採石作業	-73	-6	-50	-11	-4	-3
運輸・通信従事者	317	-26	149	166	11	17
技能工・生産工	1,279	-50	529	492	14	294
保安職業	70	29	-13	27	4	22
サービス職業	237	44	117	28	3	45

(45～50年)

職 業	男			子		
	計	15～24歳	25～39	40～49	50～54	55～
計	1,651	-1,597	1,289	1,358	423	178
専門的・技術的	229	-43	73	92	66	41
教員	58	2	-23	42	29	9
医療保健技術者	51	0	25	2	12	12
その他専門技術的	43	-1	18	11	5	11
管理的職業	202	-7	-54	106	77	81
事務従事者	695	103	353	228	104	113
販売従事者	705	-153	573	217	22	45
農林・漁業作業	-981	-183	-389	-140	-21	-248
採鉱・採石作業	-52	-5	-27	-14	-4	-3
運輸・通信従事者	123	-170	35	195	43	19
技能工・生産工	422	-888	523	595	124	69
保安職業	82	-9	50	10	7	24
サービス職業	228	-36	153	70	5	37
個人サービス職業	166	-38	140	56	-2	10
その他サービス職業	63	2	13	14	7	28

資料出所 総理府統計局「国勢調査」

(注) 計は、分類不能を除く。

別就業者の増減（昭和40～50年）

（単位 千人）

計	女			子		
	15～24歳	25～39	40～49	50～54	55～	
1,794	159	207	690	155	583	
297	137	31	90	14	25	
28	1	4	11	2	11	
871	370	246	191	30	34	
190	35	50	30	2	73	
-684	-133	-617	-9	-50	125	
-6	0	-3	-2	0	0	
-30	-41	1	9	1	1	
843	-155	395	288	104	211	
4	2	1	0	0	0	
281	-56	100	82	52	103	

計	女			子		
	15～24歳	25～39	40～49	50～54	55～	
-787	-1,515	140	310	229	49	
368	38	182	65	47	35	
91	22	30	14	18	6	
128	-8	79	21	18	17	
119	24	53	25	8	9	
25	-1	2	4	6	13	
866	-206	599	292	103	78	
85	-213	111	69	40	78	
-1,738	-200	-704	-393	-82	-359	
-4	0	-1	-1	0	0	
-50	-59	-4	10	2	1	
-481	-651	-147	168	59	91	
8	6	1	0	0	1	
134	-229	101	97	54	111	
99	-209	99	93	43	72	
66	0	7	8	13	38	

第87表 職業別雇用者の増減

第 87 表 職業別雇用者の増減（昭和45～50年）

（単位 万人，％）

職 業	増 減 数	伸 び 率	構 成 比	
			45 年	50 年
(A) 専門的・技術的職業	40	2.5	8.39	8.76
(1) 科学研究者	-5	-11.4	0.31	0.15
(2) 技術者	-1	-7.3	1.96	1.78
(3) 医療保健技術者	18	4.7	1.96	2.27
(4) 法務従事者	1	2.9	0.03	0.05
(5) 公認会計士	0.1	4.6	0.01	0.01
(6) 教 員	7	1.2	3.08	3.01
(7) 宗 教 家	1	5.9	0.08	0.10
(8) 文芸家・記者	0	0.0	0.20	0.18
(9) 美術家・デザイナー	0	0.0	0.22	0.21
(10) 音楽家・舞台芸術家	0	0.0	0.17	0.15
(11) その他の専門技術	16	14.9	0.45	0.82
(B) 管理的職業	64	4.3	7.72	8.76
(12) 管理的公務員	-1	-1.7	0.34	0.28
(13) 会社・公団の役員	62	6.1	5.06	6.26
(14) その他の管理	3	0.7	2.32	2.22
(C) 事務従事者	122	3.1	20.46	22.00
(15) 一般事務	115	3.1	19.49	20.92
(16) 外勤事務	-2	-3.6	0.34	0.26
(17) その他の事務	8	5.9	0.67	0.82
(D) 販売従事者	82	4.5	9.39	10.77
(18) 商品販売	55	4.5	6.26	7.19
(19) 販売類似	28	4.6	3.13	3.61
(E,F) 農林・漁業	-16	-5.5	1.82	1.26
(20) 農林業作業	-13	-6.6	1.26	0.82
(21) 漁業作業	-3	-3.2	0.56	0.44
(G) 採鉱・採石作業	-7	-11.8	0.42	0.21
(22) "	-7	-11.8	0.42	0.21
(H) 運輸・通信従事者	-2	-0.2	6.49	5.93
(23) 鉄道・自動車運転	3	0.4	4.64	4.35
(24) 船舶・航空機 "	1	2.7	0.20	0.21
(25) その他の運輸	-3	-2.2	0.78	0.64
(26) 通信従事者	-3	-2.0	0.87	0.72

(つづき)

職 業	増 減 数	伸 び 率	構 成 比	
			45 年	50 年
(I) 技能工・生産工程	-3	0.0	36.40	33.47
(27) 金属材料製造	2	1.1	1.03	1.00
(28) 金属加工作業者	-1	0.1	4.86	4.46
(29) 一般機械組立	7	3.0	1.23	1.31
(30) 電気機器組立	1	0.2	2.24	2.09
(31) 輸送機組立	0	0.0	1.59	1.47
(32) 精密機組立	0	0.0	0.42	0.39
(33) 製糸紡織作業	-22	-6.5	2.15	1.42
(34) 織物製品製造	4	1.5	1.45	1.44
(35) 木・竹・草・つる製品	8	3.8	1.54	1.21
(36) パルプ・紙・紙製品	0	0.0	0.50	0.46
(37) 印刷・製本作業	-2	-1.4	0.84	0.72
(38) ゴム・プラスチック製品	2	1.3	0.87	0.85
(39) か わ 製 品	-1	-4.4	0.14	0.10
(40) 窯業・土石製品	-3	-1.7	1.03	0.88
(41) 飲・食料品製造	-2	-0.7	1.54	1.37
(42) 化学製品製造	0	0.0	0.87	0.80
(43) 建設作業	1	0.1	5.81	5.39
(44) 定置機関・建設機械	6	4.0	0.78	0.88
(45) 電気作業	-2	-0.8	1.40	1.24
(46) その他の技能工	9	2.2	2.24	2.29
(47) 単純技能工	8	1.1	3.86	3.76
(J) 保安職業従事者	15	4.6	1.68	1.93
(48) 〃	15	4.6	1.68	1.93
(K) サービス職業従事者	19	1.5	6.93	6.88
(49) 家事サービス	1	1.6	0.34	0.33
(50) 個人サービス	7	0.7	5.51	5.26
(51) その他のサービス	12	5.6	1.06	1.29
合 計	304	1.6	100.0	100.0

資料出所 行政管理庁他「産業連関表の産業×職業マトリックス」

(注) A(41)その他の専門的技術的職業従事者には、保母、社会福祉事業専門職員が含まれる。

第88表 昭和45年から50年にかけて増加した職業

第88表 昭和45年から50年にかけて増加した職業（中分類）

職 業	雇 用 者 数 (50年)	性・年 齢 別 構 成 比									
		男 子 計	~19 歳	20~ 24	25~ 54	55~	女 子 計	~19	20~ 24	25~ 44	45~
計	万人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	3,881	68.0	2.1	8.4	50.2	7.3	32.0	2.2	7.2	10.7	12.0
(A) 専門的・技術的職業	340	58.1	0.3	5.0	47.3	5.5	41.9	2.0	11.5	16.3	12.1
(3) 医療保健技術者	88	22.1	0.3	2.2	17.1	2.5	77.9	8.0	22.2	27.6	20.1
(6) 教 員	117	59.2	0.0	2.3	50.0	6.9	40.8	0.1	8.8	16.6	15.2
(11) 保母, 社会福祉専門 職員等その他の専門 的・技術的職業	32	34.0	0.3	3.1	25.3	5.3	66.0	0.2	21.7	28.5	15.5
(B) 管 理 的 職 業	64	94.7	0.0	0.3	69.7	24.7	5.3	0.0	0.0	0.9	4.3
(13) 会社, 公団の役員	340	91.1	0.0	0.4	58.3	32.4	8.9	0.0	0.0	1.5	7.4
(14) その他の管理	86	98.4	0.0	0.3	82.3	15.8	1.6	0.0	0.0	0.3	1.2
(C) 事 務 従 事 者	854	51.8	0.9	5.7	39.8	5.4	48.2	4.1	16.2	17.5	10.4
(15) 一 般 事 務	812	51.5	0.9	5.6	39.7	5.3	48.5	4.1	16.2	17.7	10.5
(17) その他の事務	32	56.3	1.9	7.8	43.2	3.4	43.7	5.5	19.6	14.4	4.4
(D) 販 売 従 事 者	418	69.1	1.6	10.6	52.6	4.3	30.9	2.1	6.4	10.4	12.0
(18) 商 品 販 売	279	60.3	1.9	10.0	44.3	4.1	39.7	3.2	9.4	13.8	13.3
(19) 販 売 類 似	140	85.1	1.0	11.6	67.9	4.6	14.9	0.1	0.8	4.2	9.7
(I) 技能工・生産工程作業 者	1,299	75.9	3.9	11.3	53.2	7.5	24.1	1.7	2.9	7.1	12.5
(27) 金属材料製造	39	94.9	3.8	10.2	74.5	6.4	5.1	0.1	0.3	1.2	3.5
(29) 一般機械組立	51	91.7	4.6	14.4	66.3	6.4	8.3	0.5	1.1	2.7	3.9
(34) 織物製品製造	56	15.9	0.7	2.0	11.1	2.1	84.1	7.9	17.1	29.3	29.7
(35) 木・竹・草つる製品 製造	47	75.2	2.9	6.5	52.6	13.2	24.8	0.3	0.7	6.5	17.4
(38) ゴム, プラスチック 製品製造	33	67.9	3.5	10.1	49.9	4.4	32.1	1.2	3.0	10.9	16.8
(44) 定置機関・建設機械 運転	34	99.7	1.7	9.6	79.2	9.2	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1
(46) その他の技能工	89	68.2	3.4	12.5	48.0	4.6	31.8	1.6	4.0	9.9	15.9
(47) 単純技能工	146	68.3	3.8	9.0	40.6	14.9	31.7	0.4	0.9	6.5	23.8
(J) 保 安 職 業 従 事 者	75	97.7	4.8	18.4	61.4	13.1	2.3	0.4	0.9	0.5	0.6
(48) 保安職業従事者	75	97.7	4.8	18.4	61.4	13.1	2.3	0.4	0.9	0.5	0.6
(K) サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	267	34.2	2.4	7.8	19.6	4.8	65.8	3.6	8.3	19.3	34.6
(50) 個人サービス職業	204	33.4	2.9	8.4	19.5	2.2	66.6	3.9	10.5	21.5	30.7
(51) その他のサービス職 業	50	41.2	0.5	2.4	22.4	15.9	58.8	2.2	5.2	9.6	41.8

資料出所 行政管理庁他「産業連関表産業×職業マトリックス」

(注) 1) 職業別雇用の増加数は, 産業連関表の産業×職業マトリックスによる。

2) 性・年齢別構成比は, 昭和50年国勢調査による。

第89表 産業別職業構成比

第 89 表 産業別職業構成比 (昭和40, 45, 50年, 雇 用 者, 男 女 計)

(単位 %)

産 業	専門的・技 術的職業			管理的職業			事務従事者			販売従事者		
	40年	45年	50年	40年	45年	50年	40年	45年	50年	40年	45年	50年
全 産 業	7.6	8.6	9.2	4.7	6.0	5.9	20.8	20.7	22.6	9.2	10.0	11.2
建 設 業	3.2	4.0	3.7	3.9	5.7	6.7	10.6	10.6	12.2	0.4	0.9	1.7
製 造 業	2.1	3.4	2.9	4.7	5.7	5.8	14.0	13.6	15.0	2.9	3.1	4.5
卸 売・小 売 業	0.8	1.2	1.1	6.9	8.5	7.6	22.2	21.7	22.3	40.1	39.9	40.8
金 融・保 険	0.6	0.9	1.2	7.9	9.0	7.5	64.5	62.0	64.1	22.9	24.6	24.4
運 輸・通 信 業	1.4	1.4	1.5	4.0	4.8	4.9	26.9	26.0	27.8	0.8	1.2	1.5
電 気・ガ ス・水 道	6.4	8.9	8.4	3.1	4.5	4.7	42.0	41.5	43.8	0.5	0.8	0.9
サ ー ビ ス 業	36.0	36.2	37.8	3.0	4.2	4.1	18.1	20.5	21.8	1.9	2.2	2.0

産 業	運輸・通信従 事者			技能工・生産 工程作業者			保安・サー ビス職業			計
	40年	45年	50年	40年	45年	50年	40年	45年	50年	
全 産 業	6.7	6.5	6.1	39.7	38.2	35.2	8.6	8.3	8.5	100.0
建 設 業	4.7	4.5	4.3	75.3	72.7	69.8	1.3	1.1	1.0	100.0
製 造 業	2.0	2.0	1.9	72.5	70.6	68.6	1.6	1.3	1.3	100.0
卸 売・小 売 業	3.3	2.8	2.2	13.6	12.7	12.7	12.8	13.3	13.3	100.0
金 融・保 険	1.9	1.6	1.1	1.1	0.8	0.6	0.9	1.0	1.1	100.0
運 輸・通 信 業	43.6	45.0	45.1	21.4	19.6	17.4	1.8	1.8	1.8	100.0
電 気・ガ ス・水 道	2.1	1.7	1.4	44.4	41.0	39.4	1.4	1.6	1.5	100.0
サ ー ビ ス 業	2.4	2.6	2.3	14.3	13.3	12.6	23.9	20.3	18.8	100.0

資料出所 総理府統計局「国勢調査」

第90表 職業別学歴構成比

第90表 職業別学歴構成比（昭和52年）

職 業	52年学歴別有業者数(万人)			52年構成比(%)		
	初 等	中 等	高 等	初 等	中 等	高 等
専門的・技術的	38	120	264	8.8	28.1	61.5
管理的職業	49	86	71	23.9	41.5	34.6
事務従事者	128	570	214	14.0	62.3	23.3
販売従事者	240	354	120	33.5	49.4	16.7
農林・漁業作業者	504	142	8	77.1	21.6	1.2
採鉱・採石作業者	6	1	0	79.7	20.3	1.4
運輸・通信従事者	132	106	8	53.7	43.0	3.1
技能工・生産工程	911	573	74	58.0	36.5	4.7
金属・機械・化学	300	266	32	49.8	44.3	5.3
織 維・食 品	327	174	16	62.5	33.2	3.0
建 設	225	83	12	70.2	25.8	3.7
そ の 他	59	50	14	47.6	40.4	11.3
単純作業者	103	52	6	62.7	31.8	3.4
保安職業従事者	18	32	7	31.5	55.5	12.7
サービス職業従事者	228	147	17	57.6	37.2	4.2
分類不能	1	2	1	31.7	41.5	17.1
計	2,358	2,184	788	44.0	40.7	14.7

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

第91表 製造業の投入に占める3次産業の割合

第91表 製造業の投入に占める3次産業の割合

(単位 %)

区 分		電力・ ガス・ 水道	卸売・ 小売	金融・ 保険	不動産	運輸・ 通信	サー ビス	3次産 業計	中間投 入計
製造業計	35年	1.99	3.93	2.24	0.57	3.40	2.38	14.51	100.00
	40	2.03	5.29	2.71	0.51	3.51	1.99	16.04	100.00
	45	1.94	5.73	2.15	0.45	3.12	1.98	15.36	100.00
	50	2.41	5.48	3.31	0.60	3.58	2.90	18.27	100.00
生活関連業種	35年	0.88	5.00	1.43	0.35	2.24	1.40	11.30	100.00
	40	0.95	5.27	1.48	0.31	2.69	1.37	12.07	100.00
	45	1.08	5.74	1.54	0.26	2.83	1.78	13.23	100.00
	50	1.12	6.87	2.94	0.42	3.58	1.69	16.62	100.00
基礎資材型業種	35年	3.41	3.39	2.32	0.54	4.38	2.91	16.97	100.00
	40	3.17	4.05	2.81	0.51	3.72	1.98	16.24	100.00
	45	2.98	3.80	1.97	0.50	2.82	1.26	13.33	100.00
	50	3.59	2.98	3.02	0.62	3.08	1.87	15.16	100.00
加工・組立型業種	35年	1.80	4.55	2.98	0.91	3.84	3.38	17.46	100.00
	40	1.39	5.69	3.56	0.78	4.21	3.00	18.64	100.00
	45	1.11	7.61	2.68	0.45	3.05	3.19	18.09	100.00
	50	1.25	7.14	3.80	0.60	3.03	5.56	21.39	100.00
その他の製造業	35年	3.33	5.33	4.09	0.89	4.82	2.94	20.51	100.00
	40	3.40	7.72	4.32	0.53	4.00	1.87	21.83	100.00
	45	2.86	6.60	2.66	0.67	4.70	1.54	19.05	100.00
	50	3.80	6.75	3.85	0.88	6.17	2.77	24.22	100.00

資料出所 35～45年の数値は、行政管理庁他「35—40—45年接続産業関連表」より、
50年の数値は、「50年産業関連表（速報）」より算出したものである。

(注) 35～45年の数値は45年価格ベース、50年の数値は50年価格ベースである。

第92表 家計消費支出構造の長期的変化

第92表 家計消費支出構造の長期的変化
(1世帯当たり, 全国, 全世界)

区 分	構 成 比 (%)				
	30 年	40 年	48 年	52 年	53 年
サ ー ビ ス	37.2	46.2	50.7	54.0	55.0
外 食	1.8	2.6	3.4	3.6	3.8
家 賃 地 代	1.9	2.4	2.9	2.8	2.8
設 備 修 繕	1.3	1.9	1.8	1.6	1.5
水 道 料	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7
光 熱 費	5.2	4.5	3.7	4.2	4.2
保 健 医 療	2.2	2.5	2.6	2.5	2.6
理 容 衛 生	3.6	3.0	2.7	2.6	2.6
交 通 通 信	1.8	2.5	3.1	3.8	3.9
教 育 費	3.0	3.5	2.2	2.6	2.7
教 養 娯 楽	5.4	6.7	8.1	8.6	8.7
仕 送 り 費	0.7	1.3	1.6	1.8	1.9
負 担 費	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7
損 害 保 険 料	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5
交際費, その他雑費	11.2	13.9	17.1	18.1	18.5
物 財	62.8	53.8	49.3	46.0	45.0
耐 久 消 費 財	2.2	5.4	8.3	7.8	7.9
家 具 什 器	2.2	4.4	5.2	4.1	4.2
自動車等関係費	—	1.0	3.1	3.6	3.7
非 耐 久 消 費 財	60.6	48.4	41.0	38.2	37.2
主 食	17.4	8.9	4.5	4.4	4.3
副 食 品	22.7	19.3	17.2	16.5	15.9
し 好 食 品	6.8	7.3	6.8	6.2	6.2
被 服 費	11.7	11.6	11.5	10.1	9.8
文 房 具	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3
た ば こ	1.5	1.0	0.7	0.7	0.7
消 費 支 出	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料出所 総理府統計局「家計調査」

第93表 労働生産性の上昇率

第93表 労働生産性の上昇率

(単位 %)

産 業	労働生産性上昇率 ⁽¹⁾			生産額伸率 ⁽²⁾			就業増加数 ⁽²⁾⁻⁽¹⁾		
	35~ 40年	40~ 45年	45~ 50年	35~ 40年	40~ 45年	45~ 50年	35~ 40年	40~ 45年	45~ 50年
産 業 計	7.4	10.0	3.9	9.2	12.0	4.2	1.8	2.0	0.3
1 次 産 業	6.2	4.0	5.2	2.1	1.1	3.2	-4.1	-2.9	-2.0
2 次 産 業	7.1	10.3	3.1	11.0	13.5	3.1	3.9	3.2	0.0
製 造 業	7.2	9.8	4.6	10.8	13.6	3.7	3.6	3.8	-0.9
基礎資材型	10.0	10.5	4.5	12.0	13.3	2.8	2.0	2.8	-1.7
加工組立型	7.1	13.3	5.0	13.1	19.5	5.6	6.0	6.2	0.6
建 設 業	6.3	11.6	-2.7	12.3	13.4	0.4	6.0	1.8	3.1
3 次 産 業	4.7	8.3	2.4	9.0	10.4	6.5	4.3	2.1	4.1
卸 売 業	10.7	15.1	7.1	18.0	17.2	8.4	7.3	2.1	1.3
小 売 業	8.3	7.7	-0.4	10.6	11.7	1.7	2.3	4.0	2.1
サ ー ビ ス 業	3.6	8.3	-0.2	8.1	8.8	5.2	4.5	0.5	5.4
その他公共サービス	6.6	10.0	-3.8	16.2	-7.4	2.4	9.6	2.6	6.2
対事業所サービス	0.2	19.7	-3.0	7.7	18.6	8.1	7.5	-1.1	11.1
対個人サービス	3.7	8.2	0.7	6.3	10.5	2.3	2.6	2.3	1.6

資料出所 行政管理庁他「35—40—45年接統産業連関表」
50年は労働省労政局労働経済課推計

第94表 婦人の就業等社会参加の障害

第 94 表 婦人の就業等社会参加の障害

(単位 %)

年 齢	出産・育児	家 事	その他家庭の事情	自分の思うようなものがない	とくに障害はない	そ の 他
計	32.9	23.8	10.9	16.9	14.4	39.7
30~34歳	63.6	31.8	6.5	11.7	6.5	30.4
35~39	27.1	27.1	18.7	20.6	10.3	36.4
40~44	23.0	14.8	11.5	23.0	18.0	44.2
45~49	2.3	11.4	15.9	22.7	25.0	52.3
50~59	—	16.7	4.5	13.6	28.8	54.5

資料出所 労働省「婦人の職業生活設計に関する調査」(52年3月)

第95表 地域および年齢別労働力率のコーホート比較

第95表 地域および年齢別労働力率のコーホート比較（女子）
（都市的地域）（単位 %）

年 齢	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	生まれた年
33～37歳	50.5	68.9	40.6	38.4	—	—	—	—	昭和16～20年生
38～42	—	64.1	40.1	38.2	45.7	—	—	—	11～15
43～47	—	—	37.2	36.5	44.9	51.4	—	—	6～10
48～52	—	—	—	34.1	44.4	51.4	53.7	—	1～5
53～57	—	—	—	—	37.2	49.5	53.0	51.5	大正10～14
58～62	—	—	—	—	—	39.0	50.5	49.9	5～9

（農漁村的地域）

年 齢	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	生まれた年
33～37歳	48.9	70.9	52.1	51.1	—	—	—	—	昭和16～20年生
38～42	—	74.9	54.2	59.8	63.5	—	—	—	11～15
43～47	—	—	62.9	60.2	70.6	70.8	—	—	6～10
48～52	—	—	—	66.6	71.6	77.2	71.8	—	1～5
53～57	—	—	—	—	69.9	73.6	76.7	66.5	大正10～14
58～62	—	—	—	—	—	71.1	73.2	71.8	5～9

資料出所 総理府統計局「国勢調査」

（注）1）現在の年齢は昭和53年末における年齢である。

2）都市的地域とは「人口集中地域」、農漁村的地域とは「人口集中地域以外の地域」をいう。

第96表 世帯主の所得階級別婦人の就業タイプ

第96表 世帯主の所得階級別婦人の就業タイプ

(単位 %)

就業タイプ	世帯主の所得階級					
	100万円 未 満	100万円 } 200万円	200万円 } 300万円	300万円 } 400万円	400万円 } 500万円	500万円 以 上
不 就 業 型	3.4	10.5	16.4	18.1	21.7	28.5
未 婚 就 業 型	40.9	11.7	5.1	3.5	10.7	5.4
結 婚 後 初 就 業 型	13.7	12.7	9.7	9.1	5.4	12.5
就 業 継 続 型	1.6	7.5	9.2	11.9	3.6	12.5
結 婚 退 職 型	10.0	37.3	39.7	41.3	42.4	27.0
再 就 業 型	30.4	20.3	19.7	16.1	16.3	14.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料出所 職業研究所「婦人の職業とライフサイクル」(51年3月)

労働省労政局労働経済課試算

(注) 1) 世帯主の所得は49年年平均値である。

2) 本調査は首都圏において50年1～2月に個別面接調査により実施された。

第97表 女子の学歴,年齢別有業率

第97表 女子の学歴、年齢別有業率

(単位 %)

区 分		有 業 率		仕事が主な者の有業者		
		43年	52	43	52	
中	計	51.6	45.9	33.6	27.7	
	15～24歳	73.5	61.4	66.6	54.1	
	25～29	43.9	41.6	28.8	27.0	
	30～34	50.5	49.0	30.9	26.3	
	35～39	62.0	59.3	38.7	33.1	
	卒	40～54	63.6	63.7	39.9	39.5
		55～64	44.5	44.4	23.4	25.7
		65以上	18.4	14.5	7.8	7.0
計		51.2	50.8	39.6	35.8	
高	15～24歳	75.3	75.2	70.3	70.5	
	25～29	39.4	42.1	28.9	31.1	
	30～34	36.8	41.4	23.1	24.1	
	35～39	44.1	49.6	28.1	27.4	
	卒	40～54	49.2	54.6	31.9	33.9
		55～64	35.7	40.8	20.3	24.7
		65以上	15.2	17.6	7.8	9.4
		計	49.1	56.2	40.9	47.5
短 大・大 卒	15～24歳	67.1	80.4	62.3	76.6	
	25～29	43.0	50.2	36.4	42.3	
	30～34	40.9	40.4	33.3	30.0	
	35～39	45.8	43.5	36.1	30.2	
	卒	40～54	50.0	56.8	37.9	43.4
		55～64	36.2	42.0	26.2	28.2
		65以上	16.4	19.1	10.9	12.4
		計	49.1	56.2	40.9	47.5

資料出所 総理府統計局「就業構造基本調査」

第98表 産業別雇用者比率の変化

第98表 産業別雇用者比率の変化

(単位 %)

産 業	30 年	40	50	53
全 産 業	45.5	60.7	69.1 (69.8)	(70.2)
農 業	2.8	1.6	2.1 (2.5)	(2.8)
林 業・狩 猟	45.7	75.9	78.1 (68.2)	(65.0)
漁 業・水 産・養 殖	43.1	43.5	40.1 (39.5)	(36.4)
鉱 業	96.0	94.4	94.3 (93.8)	(100.0)
建 設 業	72.3	81.9	76.8 (78.7)	(77.5)
製 造 業	81.6	85.8	84.8 (84.5)	(83.6)
卸 売・小 売 業	45.1	58.4	64.0 (63.1)	(64.1)
金 融・保 険・不 動 産 業	94.4	90.4	90.6 (92.4)	(92.2)
運 輸・通 信・そ の 他 の 公 益	95.8	96.8	95.3 (95.3)	(95.2)
サ ー ビ ス 業	70.5	74.9	78.4 (77.1)	(77.3)
公 務	100.0	100.0	100.0 (100.0)	(100.0)
不 詳	36.0	54.9	41.1 (—)	(—)
1 次 産 業	6.0	5.4	6.4 (7.0)	(7.3)
2 次 産 業	80.6	85.1	82.8 (83.1)	(82.1)
3 次 産 業	68.2	74.1	77.0 (76.3)	(76.6)

資料出所 総理府統計局「国勢調査」「労働力調査」

(注) () 内は「労働力調査」による。

第99表 完全失業率の長期的変化と年齢別寄与度

第99表 完全失業率の長期的変化と年齢別寄与度

(男子)		(単位 %)							
年 齢	寄 与 度				寄 与 率				
	30年	40	50	53	30年	40	50	53	
15歳以上計	2.19	1.56	2.55 (1.98)	(2.38)	100.0	100.0	100.0 (100.0)	(100.0)	
15～24	0.87	0.48	0.54 (0.45)	(0.47)	39.7	30.8	21.2 (22.7)	(19.7)	
25～54	1.12	0.80	1.32 (1.14)	(1.35)	51.1	51.3	51.8 (57.6)	(56.7)	
25～44	0.85	0.92	1.00 (0.87)	(1.00)	38.8	39.7	39.2 (43.9)	(42.0)	
45～54	0.27	0.18	0.32 (0.27)	(0.35)	12.3	11.5	12.5 (13.6)	(14.7)	
55～64	0.19	0.24	0.51 (0.33)	(0.44)	8.7	15.4	20.0 (16.7)	(18.5)	
55～59	0.13	0.15	0.23 (0.18)	(0.21)	5.9	9.6	9.0 (9.1)	(8.8)	
60～64	0.06	0.09	0.28 (0.15)	(0.23)	2.7	5.8	11.0 (7.6)	(9.7)	
65以上	0.02	0.06	0.19 (0.09)	(0.12)	0.9	3.8	7.5 (4.5)	(5.0)	

(女子)

年 齢	寄 与 度				寄 与 率			
	30年	40	50	53	30年	40	50	53
15歳以上計	1.41	1.09	1.78 (1.71)	(2.02)	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0
15～19	0.48	0.18	0.11 (0.10)	(0.09)	34.0	16.5	6.2 (5.8)	(4.5)
20～24	0.41	0.32	0.49 (0.40)	(0.42)	29.1	29.4	27.5 (23.4)	(20.8)
25～39	0.38	0.34	0.65 (0.70)	(0.89)	27.0	31.2	36.5 (40.9)	(44.1)
40以上	0.16	0.24	0.53 (0.55)	(0.61)	11.3	22.0	29.8 (32.2)	(30.2)

資料出所 労働省労政局労働経済課推計

(注) 国勢調査ベースである。ただし()内は労働力調査ベースである。

第100表 労働力需給の動向と見通し

第100表 労働力需給の動向と見通し

(労働力需要)									
産 業	就 業 者 () 内は構成比				50~60年 平均増加率 %				
	45 年		50			53		60	
総 数	万人	%	万人	%	万人	%	万人	%	
総 数	5,094	(100.0)	5,223	(100.0)	5,408	(100.0)	5,720	(100.0)	0.9
1次産業	886	(17.4)	661	(12.7)	633	(11.7)	510	(8.6)	-2.6
2次産業	1,791	(35.2)	1,841	(35.3)	1,861	(34.4)	2,023	(35.4)	0.9
製造業	1,377	(27.0)	1,346	(25.8)	1,326	(24.5)	1,420	(24.8)	0.5
3次産業	2,409	(47.3)	2,710	(51.9)	2,904	(53.7)	3,187	(55.7)	1.6

(労働力供給)									
性・年齢	労 働 力 人 口 () 内は労働力率				50~60年 平均増加率 %				
	45 年		50			53		60	
男女計	万人	%	万人	%	万人	%	万人	%	
男女計	5,153	(65.4)	5,323	(63.0)	5,532	(63.4)	5,816	(61.7)	0.9
男子計	3,129	(81.8)	3,336	(81.3)	3,406	(80.3)	3,622	(78.8)	0.8
15~19歳	148	(31.4)	83	(20.4)	74	(18.1)	77	(16.8)	-0.7
20~24	434	(80.7)	351	(76.1)	293	(71.6)	302	(72.0)	-1.5
25~29	435	(97.1)	521	(96.3)	502	(96.2)	386	(96.4)	-3.0
30~54	1,623	(97.4)	1,868	(97.3)	2,010	(97.3)	2,192	(97.2)	1.6
55~64	331	(86.6)	344	(86.2)	353	(85.3)	493	(85.3)	3.7
65以上	158	(49.4)	169	(44.4)	175	(41.5)	172	(35.3)	0.2
女子計	2,024	(49.9)	1,987	(45.8)	2,125	(47.4)	2,194	(45.4)	1.0
15~19歳	153	(33.6)	85	(21.9)	79	(20.2)	82	(18.8)	-0.4
20~24	374	(70.6)	301	(65.9)	273	(68.3)	267	(66.3)	-1.2
25~29	208	(45.5)	226	(42.5)	242	(46.6)	173	(45.0)	-2.6
30~54	1,022	(57.6)	1,085	(54.9)	1,202	(57.7)	1,266	(56.1)	1.6
55~64	193	(44.4)	215	(43.8)	240	(45.5)	297	(45.5)	3.3
65以上	73	(17.9)	76	(15.2)	89	(15.8)	109	(14.6)	3.7

資料出所 総理府統計局「労働力調査」、60年は雇用政策調査研究会推計
 (注) 1) 就業者は分類不明があるため、各産業の合計は必ずしも総数に一致しない。
 2) 労働力率の推計方法は、
 ① 15~19歳層は、前回(「労働力需給の展望」50年9月)の推計値を採用(進学率との相関から推計)
 ② 20~24歳層は、大学短大進学率を推計し直し、進学率と労働力率との相関から推計
 ③ 男子25~54歳層については、52年の労働力率が60年まで変化しないと想定
 ④ 男子の55歳以上、女子の25歳以上層については、農家世帯、農家以外の自営業主世帯、雇用者世帯、その他の世帯に分けて、45年以降の傾向を延長して推計

第101表 売上高経常利益率(%)の変動(前年同期差)に対する売上げ要因および費用要因の寄与度

第101表 売上高経常利益率(%)の変動(前年同期差)
に対する売上げ要因および費用要因の寄与度

(1) 売上げ要因

年	業種	売上要因	内需要因		輸出要因	
			価格要因	数量要因	価格要因	数量要因
昭和52年度下期	製造業	2.43	0.30	0.54	-1.29	3.09
	繊維	-7.46	-2.03	-3.21	-1.22	-1.16
	鉄鋼	-8.53	2.46	-6.30	-2.24	-2.40
	非鉄	0.27	-7.93	7.78	-0.81	2.08
	一般機械	7.01	1.18	1.02	-0.91	5.90
	電機	6.80	1.02	3.93	-1.93	4.05
	造船	2.84	—	—	-2.06	5.56
	自動車	16.24	0.98	4.38	-1.12	12.31
	化学	0.97	-1.38	2.41	-1.67	1.99
	石油	-6.37	-1.78	-4.13	—	—
	パルプ・紙	-1.72	2.11	-3.45	-0.33	0.03
	窯業	7.88	6.70	-1.08	-0.44	2.80
	食料	4.86	1.94	3.09	-0.02	-0.09
商社	-6.53	-0.58	-6.16	-1.36	1.64	
小売業	7.14	3.03	3.98	0	0	
53年度下期	製造業	4.30	-0.43	6.03	-0.60	-0.70
	繊維	-1.84	3.36	-1.12	0.01	-4.04
	鉄鋼	9.33	1.58	5.78	0.97	0.84
	非鉄	4.27	1.50	4.54	-0.10	-1.77
	一般機械	4.75	0.88	7.01	-1.05	-2.27
	電機	13.37	0.19	11.93	-2.57	4.26
	造船	-5.30	—	—	0.88	-7.59
	自動車	6.12	-0.19	11.20	-1.13	-3.83
	化学	3.04	-4.20	7.55	-0.93	1.10
	石油	-8.85	-12.54	4.41	—	—
	パルプ・紙	0.94	-10.72	13.23	-0.20	0.14
	窯業	6.58	5.17	2.82	-0.37	-1.27
	食料	5.42	1.63	3.63	-0.10	0.24
商社	1.69	-1.50	6.09	-0.62	-2.22	
小売業	9.13	2.18	6.80	0	0	

(注) 交絡効果があるため内需要因と輸出要因の合計は売上要因と一致しない。

(2) 費用要因

業種	昭和52年度下期				53年度下期			
	費用 要因計	人件費 要因	金融費 用要因	減価償却 費要因	費用 要因計	人件費 要因	金融費 用要因	減価償却 費要因
製 造 業	2.81	0.61	-0.46	0.10	3.35	0.41	-0.40	0.18
織 維	-7.08	-0.97	-1.05	-0.25	-7.60	-0.74	-0.94	-0.26
鉄 鋼	-6.46	0.74	-0.19	-0.15	4.75	-0.43	-0.61	0.42
非 鉄	0.67	0.55	-1.04	-0.03	2.58	0.04	-0.93	-0.07
一般機械	7.28	1.05	-0.78	0.06	3.57	0.74	-0.66	0.11
電 機	6.83	0.88	-0.22	0.25	12.49	1.65	-0.19	0.35
造 船	5.77	0.26	-0.30	-0.18	-3.07	-1.50	-0.41	-0.19
自 動 車	17.12	1.19	-0.31	0.67	6.49	0.69	-0.19	0.36
化 学	0.74	0.45	-0.69	-0.05	1.05	0.43	-0.57	0.13
石 油	-6.63	0.09	-0.41	-0.02	-5.51	0.14	-0.09	0.03
パルプ・紙	-1.85	0.44	-0.73	0.19	0.67	-0.07	-0.73	0.19
窯 業	6.34	0.64	-0.76	-0.05	3.50	0.42	-0.47	0.24
食 料	3.45	0.49	-0.40	0.04	5.48	0.89	-0.25	0.01
商 社	-6.57	0.05	-0.26	0.00	1.79	0.02	-0.16	0.01
小 売 業	7.89	1.05	-0.37	0.15	8.86	0.63	-0.12	0.09

(注) 費用要因計には、表中の3要因のほか、「その他原材料費等」が含まれる。

(3) 人件費要因

業 種	前年同期比増減率 (%)						人件費要因		うち雇用 人員要因	
	人 件 費		雇 用 人 員		1 人 当 たり 人 件 費					
	53年度 上 期	53年度 下 期	53年度 上 期	53年度 下 期	53年度 上 期	53年度 下 期	53年度 上 期	53年度 下 期	53年度 上 期	53年度 下 期
製 造 業	1.15	3.32	-3.3	-3.2	4.60	6.73	0.15	0.41	-0.42	-0.39
織 維	-7.46	-5.49	-16.1	-12.1	10.30	7.52	-0.99	-0.74	-2.13	-1.62
鉄 鋼	-5.45	-2.92	-2.9	-3.8	-2.63	0.91	-0.99	-0.43	-0.43	-0.56
非 鉄	-2.09	0.36	-6.7	-5.3	4.94	5.98	-0.23	0.04	-0.73	-0.55
一 般 機 械	1.69	4.18	-2.7	-3.5	4.51	7.96	0.31	0.74	-0.50	-0.62
電 機	5.09	9.91	-2.2	-2.0	7.45	12.15	0.89	1.65	-0.38	-0.33
造 船	-6.03	-7.20	-6.3	-7.7	0.29	0.54	-1.39	-1.50	-1.45	-1.60
自 動 車	7.89	7.31	1.6	0.7	6.19	6.56	0.79	0.69	0.16	0.06
化 学	1.08	3.38	-2.9	-2.9	4.10	6.47	0.14	0.43	-0.37	-0.37
石 油	3.98	7.80	0.4	0.7	3.57	7.05	0.08	0.14	0.01	0.01
パルプ・紙	-0.61	-0.63	-4.5	-3.4	4.07	2.87	-0.07	-0.07	-0.51	-0.40
窯業・土石	1.07	3.10	-4.7	-3.3	6.05	6.62	0.17	0.42	-0.73	-0.46
食 料 品	6.04	10.34	-0.8	-0.8	6.90	11.23	0.49	0.89	-0.06	-0.07
商 社	0.59	2.90	-2.3	-2.9	2.96	5.97	0.01	0.02	-0.02	-0.02
小 売 業	10.52	6.86	2.3	6.2	8.04	0.62	0.99	0.63	0.22	0.57

- (注) 1) 雇用人員は、6月末および12月末の前年同期比増減率である。
2) 1人当たり人件費は、人件費および雇用人員から計算したものである。

資料出所 総理府統計局「消費者物価指数」
日本銀行「企業短期経済観測」,「輸出入物価指数」,「工業製品生産者物
価指数」

第102表 賃金コスト変動の国際比較

第102表 賃金コスト変動の国際比較

(1) 製造業における賃金コスト，時間当たり賃金および時間当たり労働生産性の増減率

(単位 年率%)

年	国	賃金コスト	時間当たり賃金	時間当たり労働生産性
1973年～77年	日本	11.2	15.9	4.2
	アメリカ	5.4	8.4	2.8
	西ドイツ	3.9	9.6	5.5
1973年～78年	日本	8.2	13.9	5.3
	アメリカ	5.8	8.6	2.6
1975年～77年	日本	0.4	8.3	8.0
	アメリカ	4.6	8.2	3.5
	西ドイツ	1.1	7.3	6.0
1975年～78年	日本	-0.8	7.6	8.4
	アメリカ	5.5	8.6	3.0

資料出所 日本 労働省「毎月勤労統計」

通商産業省「鉱工業生産指数」

アメリカ 労働省 “Employment and Earnings”

商務省 “Survey of Current Business”

西ドイツ 連邦統計局 “Statistisches Jahrbuch”

(注) 各国とも生産労働者(男女計)の賃金，労働時間，雇用動向による。

(2) 業種別賃金コストの増減率

業 種	1973年～1977年					1973年～1978	
	日 本	アメリカ		西ドイツ		日 本	アメ
		ドル表示	円換算後	マルク表示	円換算後		ドル表示
食 料	16.3	6.0	5.6	2.7	6.1	14.1	4.5
織 維	5.7	6.1	5.8	0.6	3.9	4.3	4.5
衣 服	15.9	3.6	3.2	3.6	7.0	12.3	—
木 材	8.4	5.8	5.5	4.1	7.5	7.0	9.3
パ ル プ・紙	12.5	7.8	7.5	2.8	6.1	9.4	7.4
化 学	10.4	5.4	5.0	5.7	9.1	5.9	5.8
石 油・石 炭	14.7	11.2	10.8	2.0	5.3	13.0	11.0
ゴ ム	10.2	2.8	2.4	1.9	5.2	7.3	3.8
皮 革	11.1	6.5	6.2	6.9	10.3	6.8	6.0
窯 業	13.4	4.5	4.1	0.7	3.9	11.0	5.1
鉄 鋼	13.7	10.8	10.5	13.6	17.3	10.4	9.0
非 鉄	11.0	8.4	8.1	3.0	6.3	7.8	6.3
金 属	9.9	4.9	4.5	0.8	4.0	6.4	6.6
一 般 機 械	11.0	4.8	4.4	3.4	6.7	7.2	5.9
電 機	7.7	6.8	6.4	1.4	4.7	4.8	5.6
輸 送 機 械	12.7	7.7	7.3	6.0	9.4	10.1	7.8
精 密 機 械	-0.6	5.7	5.4	5.9	9.3	-2.3	9.1
製 造 業 計	11.2	5.4	5.1	3.9	7.3	8.2	5.8

(注) 為替レートは次のとおり

	1973年	75	77	78
1 ドル	272.22 ^円	296.80	268.51	210.47
1 マルク	101.86	120.63	115.65	—

資料出所 IMF “International Financial Statistics”

(単位 年率%)

年	1975年～1977年					1975年～1978年			
	リカ 円換算後	日 本	アメリカ		西ドイツ		日 本	アメリカ	
			ドル表示	円換算後	マルク 表 示	円換算後		ドル表示	円換算後
	-0.8	9.8	5.2	0.1	1.8	-0.4	8.4	3.0	-8.2
	-0.8	-0.5	8.4	3.1	-0.3	-2.4	-0.7	4.8	-6.5
	—	9.3	1.6	-3.4	5.2	3.0	5.8	—	—
	3.8	1.8	7.4	2.2	3.3	1.2	1.7	12.8	0.6
	2.0	2.1	6.0	0.9	-1.9	-3.9	0.7	5.9	-5.6
	0.5	-2.0	2.6	-2.4	-0.4	-2.5	-4.8	4.3	-7.0
	5.5	1.1	9.4	4.1	-5.9	-7.9	2.9	9.7	-2.2
	-1.4	-0.6	1.2	-3.7	-0.2	-2.2	-1.5	3.5	-7.7
	0.7	7.4	8.0	2.7	9.5	7.3	1.7	6.6	-4.9
	-0.1	-0.4	2.0	-3.0	-2.2	-4.2	0.4	3.9	-7.3
	3.5	0.8	7.2	1.9	16.9	14.5	0.0	5.4	-6.0
	1.0	-4.2	4.6	-0.5	-2.4	-4.5	-4.2	2.4	-8.6
	1.3	-8.0	4.8	-0.2	-5.2	-7.1	-7.5	7.8	-3.9
	0.6	-2.6	3.6	-1.4	-0.8	-2.8	-4.0	5.9	-5.5
	0.3	-4.6	4.8	-0.3	-2.5	-4.5	-5.2	3.6	-7.7
	2.3	7.3	5.7	0.5	3.0	0.9	5.1	6.4	-5.1
	3.7	-10.4	4.9	-0.1	-0.8	-2.9	-9.8	10.9	-1.1
	0.5	0.4	4.6	-0.5	1.1	-1.0	-0.8	5.5	-5.9

第103表 輸出(実質)変動の生産に対する影響

第103表 輸出(実質)変動の生産に対する影響

年	業種	年 計		1～3 月 期	
		輸 出 額	間 接 効 果	輸 出 額	間 接 効 果
昭 和 52 年	食料	-0.238	0.051	-0.175	0.092
	繊維	1.406	0.770	0.610	0.052
	化学	1.355	1.483	1.574	1.928
	石油・石炭	0.090	0.972	0.093	1.608
	窯業	0.494	0.481	0.401	0.843
	鉄鋼	-0.416	1.522	0.093	2.868
	非金属	1.091	2.533	0.759	4.099
	一般機械	1.655	0.657	1.575	0.938
	電気機械	3.086	1.819	2.679	2.366
	輸送機械	0.770	0.853	3.817	1.952
	精密機械	3.764	1.191	6.919	2.128
	その他	8.230	1.728	9.223	2.140
	製造業計	0.586	1.370	0.848	1.618
		1.144	1.112	1.763	1.698
53 年	食料	0.202	0.022	0.117	0.083
	繊維	-1.569	-0.696	0.269	0.251
	化学	0.921	0.095	0.891	0.923
	石油・石炭	0.249	-0.374	0.301	0.483
	窯業	0.131	-0.049	0.755	0.415
	鉄鋼	-0.708	-0.822	0.751	0.947
	非金属	0.770	0.322	2.103	2.395
	一般機械	-0.669	-0.166	0.008	0.445
	電気機械	2.850	0.473	3.904	1.913
	輸送機械	0.936	0.232	0.428	0.759
	精密機械	-4.121	-1.150	3.034	0.961
	その他	3.008	0.484	5.581	1.238
	製造業計	-0.068	-0.144	0.115	0.675
		-0.078	-0.215	0.916	0.805

資料出所 日本関税協会「外国貿易概況」、通商産業省「鉱工業生産指数」、行政
(注) 計算方法は次のとおり。

- ① 品目毎にドル建輸出額を円換算し、価格指数により実質化(50年価格)
- ② 産業連関表(61部門)をもとに生産額ウェイトにより統合した逆行列係の間接的影響を算出する。
- ③ ①を直接的影響とし、①と②を合算したものを輸出額の変動による生産
- ④ ③で計算した結果を産業連関表の50年生産額で除し、50年の生産額を
- ⑤ ④の結果をそれぞれ前年同期の生産指数(50年基準)で除して、生産の

(生産の前年同期比増減率(%)に対する寄与度)

4～6月期		7～9月期		10～12月期	
輸出額	間接効果	輸出額	間接効果	輸出額	間接効果
-0.155	0.070	-0.326	0.027	-0.279	0.025
1.461	0.789	1.596	0.804	1.908	0.935
1.405	1.449	1.374	1.367	1.105	1.237
0.032	0.245	0.028	1.119	0.193	0.902
0.592	0.427	0.482	0.368	0.493	0.322
-1.712	0.520	0.042	1.445	-0.107	1.358
-0.290	2.201	1.272	1.886	2.550	2.088
2.478	0.730	1.478	0.508	1.141	0.507
3.089	1.893	3.268	1.478	3.254	1.613
1.421	1.069	-0.249	0.399	-1.398	0.175
4.086	1.265	1.323	0.493	2.769	0.892
8.805	1.875	8.468	1.638	6.778	1.377
0.562	1.049	0.636	2.227	0.324	0.641
1.093	0.920	0.908	1.053	0.873	0.836
0.269	0.048	0.290	0.030	0.121	-0.055
-1.047	-0.504	-1.739	-0.828	-3.507	-1.591
1.206	0.208	1.105	-0.017	0.507	-0.672
0.222	-0.234	0.220	-0.987	0.251	-0.779
0.422	-0.048	0.212	-0.187	-0.807	-0.350
-0.470	-0.915	-1.312	-2.041	-0.305	-1.308
2.088	0.610	0.265	-0.220	-1.307	-1.435
-0.354	-0.195	-1.082	-0.310	-1.181	-0.552
3.609	0.317	2.617	0.022	1.267	-0.368
1.009	0.110	2.050	0.304	0.259	-0.214
-7.318	-2.036	-6.962	-1.977	-5.003	-1.473
5.097	0.748	1.826	0.198	0.109	-0.115
0.031	-0.222	-0.128	-0.350	-0.277	-0.630
-0.120	-0.309	-0.375	-0.573	-0.673	-0.718

管理庁他「昭和50年産業連関表」

し、さらにこれの前年同期差を算出する。
 数に、①で作成した輸出額の前年同期差を乗じ、輸出額の変動による各業種の生産への影響の合計とする。
 100とした輸出額の変動による生産への影響合計を算出する。
 前年同期比増減率(%)に対する輸出の寄与度を算出する。

第104表 標準労働者と中途採用者の年齢間賃金格差の最近の動き

第104表 標準労働者と中途採用者の年齢間賃金格差の最近の動き
(製造業, 男子生産労働者)

企業規模	区分	年齢	48年	49年	50年	51年	52年	53年
1,000人以上	標準労働者	45~49歳	186.9	182.8	183.5	190.2	190.8	193.1
		50~54歳	191.2	186.4	190.6	195.2	195.4	198.1
	中途採用者	45~49歳	119.8	120.5	125.9	125.8	124.9	116.6
		50~54歳	108.2	108.1	112.1	118.0	111.5	122.3
		55~59歳	122.4	103.6	113.8	122.9	113.7	127.2
	10~99人	標準労働者	45~49歳	151.4	146.7	150.7	154.2	159.3
50~54歳			142.5	134.1	149.2	150.8	158.3	158.6
中途採用者		45~49歳	120.0	123.7	127.7	120.3	127.1	134.4
		50~54歳	115.1	119.7	119.2	112.7	118.7	124.8
		55~59歳	110.9	111.6	111.6	110.0	113.8	114.7

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」

(注) 1) 20~24歳層の所定内給与を100とした指数である。

2) 標準労働者は次の者をいう。

年齢 20~24歳 勤続 3~4年

// 45~49歳 // 20~29年

// 50~54歳 // 20年以上

3) 中途採用者は各年齢階層とも勤続0年の労働者をいう。

第105表 若年労働者と中高年齢労働者の賃金上昇率の比較

第105表 若年労働者と中高年齢労働者の賃金上昇率の比較
(製造業, 男子生産労働者) (単位 年率%)

期 間	規模 1,000人以上			規模100~999人			規模10~99人		
	歳 20~24	歳 35~39	歳 40~49	歳 20~24	歳 35~39	歳 40~49	歳 20~24	歳 35~39	歳 40~49
昭和 37 ~ 40 年	10.9	7.0	6.9	11.6	7.7	9.7	13.7	11.5	11.9
40 ~ 45	15.6	12.2	12.2	13.6	13.3	12.3	12.9	14.0	13.1
47 ~ 53	12.5	13.6	13.1	12.3	13.6	13.6	12.0	13.8	14.1

(資料出所) 労働省「賃金構造基本統計」

第106表 労働者の年齢構成の変化と年齢間賃金格差の変動

第106表 労働者の年齢構成の変化と年齢間賃金格差の変動
(製造業, 男子生産労働者)

年	規模 1,000人以上		規模 100~999人		規模 10~99人	
	賃金格差	労働者比	賃金格差	労働者比	賃金格差	労働者比
昭和 37 年	235.8	23.3%	168.4	17.6%	136.1	20.2%
38	223.5	24.3	170.3	18.3	134.8	19.7
39	217.8	23.7	157.7	19.3	133.8	20.4
40	210.9	23.5	158.3	20.0	129.3	21.7
41	203.5	25.0	154.9	20.3	128.8	22.4
42	203.3	22.9	157.7	19.4	131.3	23.2
43	193.4	23.7	156.5	21.4	133.1	24.6
44	188.2	23.6	153.4	22.5	133.7	25.6
45	180.8	22.9	149.6	23.6	130.0	27.3
46	171.8	22.0	145.7	24.9	128.5	29.0
47	166.7	23.5	146.8	26.1	128.0	30.6
49	165.5	26.3	145.3	29.2	128.2	34.5
50	169.2	25.7	150.2	30.0	130.7	36.8
51	170.3	27.3	153.2	31.4	134.5	37.9
52	171.2	29.0	154.4	33.2	138.8	39.8
53	174.4	30.8	158.1	34.6	142.8	41.5

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」

(注) 1) 構成比は40~59歳層の年齢計に対する割合である。

2) 賃金格差は20~24歳層の賃金に対する40~59歳層の賃金の比率である。

第107表 中途採用者の企業規模別分布および全労働者に対する比率

第107表 中途採用者の企業規模別分布および全労働者に対する比率
(製造業, 男子) (単位 %)

区 分	企 業 規 模	構 成 比	全労働者に対する比率
計		100.0	3.3
生産労働者	1,000人以上	5.5	0.8
	100~999人	22.8	4.0
	10~99人	51.0	8.1
管理・事務・技術労働者	1,000人以上	1.7	0.3
	100~999人	6.5	1.6
	10~99人	12.5	4.9

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」(昭和53年)

(注) 中途採用者とは、生産労働者の場合は20歳以上の勤続0年の労働者、
管理・事務・技術労働者の場合は25歳以上の勤続0年の労働者である。

第108表 企業規模別中途採用者の賃金

第108表 企業規模別中途採用者の賃金 (製造業, 男子生産労働者)

年 齢 階 級	所定内給与 (千円)			格 差		
	1,000人以上	100~999人	10~99人	1,000人以上	100~999人	10~99人
20~24歳	105.9	102.5	102.0	100.0	96.8	96.3
25~29	114.3	112.7	118.0	100.0	98.6	103.2
30~34	132.3	127.2	132.4	100.0	103.2	107.4
35~39	133.1	130.1	138.3	100.0	97.7	103.9
40~44	127.3	132.0	137.9	100.0	103.7	108.3
45~49	123.5	131.7	137.1	100.0	106.6	111.0
50~54	129.5	122.2	127.3	100.0	94.4	98.3
55~59	134.7	110.3	117.0	100.0	81.9	86.9
60~64	102.4	104.3	112.5	100.0	101.9	109.9

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」(昭和53年)

(注) 格差は企業規模1,000人以上の中途採用者の賃金を100とした比率である。

第109表 男子中高年中途採用者賃金の標準労働者賃金に対する格差の推移

第109表 男子中高年中途採用者賃金の標準労働者賃金に対する格差の推移（製造業，男子生産労働者）

(1) 40～49歳層

区 分		年	規 模 計	1,000人 以 上	100～ 999人	10～99人
所 定 内 給 与 (千 円)	中 途 採 用 者	昭和42年	31.3	30.1	29.9	32.1
		45	49.7	51.7	48.2	50.0
		49	96.0	102.0	96.0	94.0
	標 準 勞 働 者	昭和42年	50.6	52.7	46.7	41.2
		45	77.2	80.5	71.6	63.8
		49	148.8	156.9	145.9	122.8
格 差 (標準労働者の賃金 =100)		昭和42年	61.9	57.1	64.0	77.9
	45	64.4	64.2	67.3	78.4	
	49	64.5	65.0	65.8	76.5	

(2) 45～49歳層

区 分		年	規 模 計	1,000人 以 上	100～ 999人	10～99人	
所 定 内 給 与 (千 円)	中 途 採 用 者	昭和49年	93.8	98.3	93.6	92.8	
		50	107.6	115.8	106.1	107.5	
		51	111.4	121.0	110.9	110.8	
		52	123.0	129.4	120.8	123.4	
		53	135.3	123.5	131.7	137.1	
	標 準 勞 働 者	昭和49年	151.1	160.1	144.4	122.2	
		50	166.7	177.6	162.0	138.6	
		51	181.7	192.7	177.3	153.6	
		52	195.0	208.0	190.8	166.0	
		53	203.3	218.4	198.4	177.6	
	格 差 (標準労働者の賃金 =100)		昭和49年	62.1	61.4	64.8	75.9
		50	64.5	65.2	65.5	77.6	
		51	61.3	62.8	62.5	72.1	
		52	63.1	62.2	63.3	74.3	
	53	66.6	56.5	66.4	77.2		

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」

(注) 中途採用者は勤続0年，標準労働者は勤続20～29年の労働者である。

第110表 中高年労働者の企業間移動に伴う賃金収入の変動

第110表 中高年労働者の企業間移動に伴う賃金収入の変動
(製造業, 男子)

(1) 40歳時移動の場合

区 分	ケース	賃 金 収 入 (万円)			格 差	
		18~40歳	40~60歳	(計)18~60歳		
生産労働者	1	}		5,488	9,460	(100.0)
	2		3,972	4,260	8,232	(87.0)
	3			3,645	7,617	(80.5)
管理・事務・ 技術労働者	1	}		7,130	11,337	(100.0)
	2		4,207	5,432	9,639	(85.0)
	3			4,984	9,191	(81.1)

(2) 55歳時移動の場合

区 分	ケース	賃 金 収 入 (万円)			格 差	
		18~55歳	55~60歳	(計)18~60歳		
生産労働者	1	}		1,445	9,460	(100.0)
	2		8,015	925	8,938	(94.5)
	3			732	8,747	(92.5)
管理・事務・ 技術労働者	1	}		2,022	11,337	(100.0)
	2		9,315	1,304	10,619	(93.7)
	3			1,067	10,381	(91.6)

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」

(注) 1) ケースの別は次による。

ケース1 18歳から60歳まで通して同一大企業に勤務する場合。

ケース2 40歳あるいは55歳で大企業から他の大企業へ移動する場合。

ケース3 40歳あるいは55歳で大企業から小企業へ移動する場合。

2) 格差はケース1の賃金収入計を100とした、他ケースの賃金収入計の比率である。

3) 年齢と勤続年数によって説明する賃金回帰式(参考資料21.「賃金における年齢、勤続の評価」参照)にもとづき推計した。

第111表 年齢別にみた標準労働者と中途採用者の賃金格差

第111表 年齢別にみた標準労働者と中途採用者の賃金格差（日英比較）

年齢階級	日 本			イ ギ リ ス		
	賃 金 (月当たり額, 千円)		格 差	賃 金 (週当たり額, ポンド)		格 差
	標準労働者	中途採用者		標準労働者	中途採用者	
18～19(20)歳*	106.6		—	45.7		—
20(21)～24 *	131.2	116.8	89.0	58.9	56.7	96.3
25 ～ 29	162.0	135.3	83.5	66.6	62.4	93.7
30 ～ 34	196.2	153.4	78.2	71.2	64.7	90.9
35 ～ 39	214.0	158.9	74.3			
40 ～ 44	220.4	157.5	71.5	70.5	62.8	89.1
45 ～ 49	221.1	156.3	70.4			
50 ～ 54	221.7	146.4	66.0	67.1	56.5	84.2
55 ～ 59	196.2	131.6	67.1			
60 ～ 64	149.4	122.0	81.7	62.3	51.2	82.2

資料出所 日 本 労働省「賃金構造基本統計」（昭和53年）

イギリス 雇用省 “New Earnings Survey 1976”

- (注) 1) 標準労働者の賃金=100 である。
 2) *…日本は18～19歳, 20～24歳, イギリスは18～20歳, 21～24歳である。
 3) 標準労働者とは, 18～19(20)歳は勤続0年, 20(21)～24歳は勤続3～4年, 25～29歳は勤続5～9年, 30歳以上は勤続10年以上の労働者である。
 4) 中途採用者とは勤続0年の労働者である。

第112表 年齢別の賃金の分散状況

第112表 年齢別の賃金の分散状況（四分位分散係数）

区 分	国 名	～17歳	18～ 19(20)	20(21) ～24	25～29	30～34	35～39
生産労働者	日 本	0.10	0.09	0.11	0.12	0.12	0.12
	イギリス	0.20	0.20	0.18	0.18	0.18	
管理・事務・ 技術労働者	日 本	0.11	0.07	0.10	0.12	0.13	0.14
	イギリス	0.15	0.17	0.16	0.18	0.22	

区 分	国 名	40～44歳	45～49	50～54	55～59	60～64
生産労働者	日 本	0.15	0.18	0.21	0.23	0.19
	イギリス	0.18		0.18		0.18
管理・事務・ 技術労働者	日 本	0.18	0.23	0.25	0.27	0.31
	イギリス	0.25		0.27		0.26

資料出所 日 本 労働省「賃金構造基本統計」（昭和53年）
イギリス 雇用省 “New Earnings Survey 1977”

(注) 1) 四分位分散係数 = $\frac{\text{第3四分位値} - \text{第1四分位値}}{\text{中位数} \times 2}$

2) 年齢区分の () はイギリス場合の年齢区分である。

第113表 新規学卒労働者の生涯賃金

第113表 新規学卒労働者の生涯賃金（男子）

学歴	産 業	企業規模	45 年		52 年	
			生涯賃金 —千円	労働者 構成比 %	生涯賃金 —千円	労働者 構成比 %
大	製造業	計	—	49.6%	—	41.1%
		1,000人以上	68,737.6	19.8	156,467.2	10.7
		100~999人	51,738.0	22.8	126,723.5	20.6
	卸売・ 小売業	10~99人	42,721.6	7.0	104,394.0	9.8
		計	—	50.4	—	58.9
		1,000人以上	66,476.9	17.0	160,267.2	12.4
卒	計	100~999人	51,267.0	21.7	118,740.7	26.5
		10~99人	43,662.5	11.7	111,927.5	20.0
		計	55,934.6 (100.0)	100.0	126,804.1 (100.0)	100.0
高	製造業	計	—	66.5	—	54.3
		1,000人以上	50,831.2	36.3	124,161.1	18.7
		100~999人	41,972.1	21.7	106,320.4	23.8
	卸売・ 小売業	10~99人	36,382.1	8.5	90,613.6	11.8
		計	—	33.5	—	45.6
		1,000人以上	51,713.3	6.3	136,052.3	5.5
卒	計	100~999人	41,964.6	14.1	107,870.5	24.8
		10~99人	36,371.8	13.1	97,764.6	15.3
		計	45,587.3 (79.7)	100.0	108,491.0 (85.6)	100.0

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」

(注) 1) 生涯賃金は各年の学歴別、年齢別の賃金を学校卒業時から55歳まで積み上げたものである。

2) 労働者構成比は各年の高卒18~19歳、大卒20~24歳の勤続0年の労働者による。

3) () 内は、大卒の生涯賃金を100とした比率である。

第114表 学歴別モデル退職一時金

第114表 学歴別モデル退職一時金（製造業，男子）

学 歴	大 卒			高 卒		
	1,000 人以上	100～ 999人	10～ 99人	1,000 人以上	100～ 999人	10～ 99人
①支給月数 (カ月)	41.2	28.8	27.5	44.0	32.7	30.5
②退職時所定 内給与額 (千円)	406.0	326.7	256.6	284.0	240.4	212.5
③退職一時金 額 (千円)	16,727.2	9,409.0	7,056.5	12,496.0	7,861.1	6,481.3
④生涯賃金 (千円)	156,783.2 (100.0)	127,915.5 (81.5)	107,235.3 (68.4)	130,986.6 (83.5)	113,977.4 (72.7)	99,650.3 (63.6)
⑤退職一時金 比率 $\left(\frac{\text{③}}{\text{③}+\text{④}}, \%\right)$	9.6	6.9	6.2	9.7	6.5	6.1
⑥退職一時金 格差 (④)	(100.0)	(56.2)	(42.2)	(74.7)	(47.0)	(38.7)
⑦退職一時金 を含めた生涯賃金 の格差 (③+④)	(100.0)	(79.1)	(65.9)	(82.7)	(70.2)	(61.2)

資料出所 労働省「退職金制度総合調査」，「賃金構造基本統計」

(注) 1) 大卒，高卒とも管理・事務・技術労働者についてのものである。

2) 退職一時金額は，退職時所定内給与額（52年，50～54歳層）に支給月数を乗じたものである。

3) 生涯賃金の推計方法は第113表に同じ。

4) ()内は1,000人以上の大卒者の生涯賃金を100としたときの学歴間，規模間の生涯賃金の格差である。

第115表 学歴間生涯賃金格差の国際比較

第115表 学歴間生涯賃金格差の国際比較(男子)

区 分	日 本		アメリカ	カナダ
	1970年	1977年	1976年	1971年
① 高 卒	42,336千円	109,396千円	497,108米ドル	295,818 ^{カナダ} ドル
② 大 卒	56,830千円	138,693千円	709,254米ドル	453,777 ^{カナダ} ドル
(①/②)×100	74.5	78.9	70.1	65.2

資料出所 日 本 労働省「賃金構造基本統計」

アメリカ 商務省 “Consumer Income” (1977年)

カナダ 統計局 “Census of Canada” (1971年)

(注) 1) 学校卒業時から55歳到達時までの賃金の累積額である。

2) 日本およびアメリカの大卒には大学院卒も含む。

第116表 職階間賃金格差の国際比較

第116表 職階間賃金格差の国際比較(男子)

(1) 賃金格差(45~54歳)

1) 日本(1977年)

区 分	部 長	課 長	管理・事務・技術労働者平均
賃 金	362.3千円	291.5千円	260.9千円
格 差	138.9	111.7	100.0

2) EC諸国(1972年)

区 分	国 名	1 B	2	ノン・マニュアル ワーカー平均
賃 金	西ドイツ	3,319マルク	2,522マルク	2,215マルク
	フランス	6,260フラン	4,474フラン	3,282フラン
	イタリア	619,469リラ	381,065リラ	327,717リラ
	オランダ	3,451ギルダー	2,986ギルダー	2,155ギルダー
	ベルギー	37,250フラン	35,227フラン	27,556フラン
格 差	西ドイツ	149.8	113.9	100.0
	フランス	190.7	136.3	100.0
	イタリア	189.0	116.3	100.0
	オランダ	160.1	138.6	100.0
	ベルギー	135.2	127.8	100.0

(2) 労働者分布(年齢計)

(%)

同 名	部 長 (1 B)	課 長 (2)	管理・事務・技術労働者計 (ノン・マニュアルワーカー計)
日 本	4.8	10.8	100.0
西 ド イ ツ	5.3	27.4	100.0
フ ラ ン ス	4.2	22.6	100.0
イ タ リ ア	5.6	24.1	100.0
オ ラ ン ダ	3.2	16.8	100.0
ベ ル ギ ー	6.9	16.3	100.0

資料出所 日 本 労働省「賃金構造基本統計」(昭和52年)

EC各国 E.C. "Structure of Earnings in Industry 1972"

(注) 1) 日本は、企業規模100人以上の建設業、製造業計であり、EC諸国は、事業所規模10人以上の鉱業、建設業、製造業計である。

2) EC諸国の職階中、1 Bは、management executives, 2は executivesを示す。

3) 月額賃金による。

第117表 高賃金業種および低賃金業種における賃金格差の国際比較

第117表 高賃金業種および低賃金業種における賃金格差の国際比較
(製造業中分類, 男子生産労働者)

年齢	国名	高賃金業種			低賃金業種		
年齢計	日本	128.4 (鉄鋼)	123.3 (石油・石炭)	119.9 (化学)	79.4 (木材・木製品)	79.1 (家具)	78.1 (衣服)
	西ドイツ	107.4 (自動車)	107.2 (紙・印刷・出版)	106.6 (化学繊維)	89.5 (衣服・履物)	88.1 (繊維)	87.6 (皮革)
	フランス	119.8 (化学繊維)	119.3 (金属鉱業)	117.8 (紙・印刷・出版)	85.7 (衣服・履物)	82.8 (皮革)	80.7 (木材・木製品)
	イタリア	130.6 (事務用機械)	120.6 (紙・印刷・出版)	116.8 (金属鉱業)	80.5 (その他製造)	77.4 (木材・木製品)	73.6 (衣服・履物)
	オランダ	111.7 (紙・印刷・出版)	110.8 (金属製造)	109.6 (化学)	89.2 (その他製造)	89.2 (皮革)	86.1 (衣服・履物)
45歳	日本	135.7 (石油・石炭)	129.9 (鉄鋼)	124.7 (化学)	76.6 (家具)	75.3 (衣服)	71.2 (木材・木製品)
	西ドイツ	107.7 (化学)	107.2 (自動車)	106.0 (紙・印刷・出版)	90.4 (衣服・履物)	89.3 (皮革)	87.5 (繊維)
	フランス	119.2 (紙・印刷・出版)	118.3 (事務用機械)	115.1 (化学繊維)	84.2 (繊維)	81.7 (木材・木製品)	80.6 (皮革)
	イタリア	131.3 (事務用機械)	123.2 (紙・印刷・出版)	113.8 (金属鉱業)	79.4 (その他製造)	77.0 (木材・木製品)	72.5 (衣服・履物)
	オランダ	110.8 (紙・印刷・出版)	109.8 (金属製造)	106.4 (化学)	91.9 (木材・木製品)	89.5 (皮革)	87.2 (衣服・履物)

資料出所 日本 労働省「賃金構造基本統計」(昭和52年)

EC各国 E.C. "Structure of Earnings in Industry 1972"

- (注) 1) 高賃金業種, 低賃金業種は製造業のうち賃金の高い順に, また賃金の低い順にそれぞれ3業種ずつ掲げた。
 2) 賃金は, 日本は定期給与, EC各国は gross earnings で, 時間当たり賃金である。
 3) それぞれの国の製造業の平均賃金=100である。

第118表 勤続0年の女子労働者の年齢間賃金格差

第118表 勤続0年の女子労働者の年齢間賃金格差(国際比較)

年齢階級	生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	日 本	イギリス	フランス	日 本	イギリス	フランス
18歳未満	88.3	91.5	72.8	82.4	82.5	55.9
18~19歳	107.3	111.3	93.3	92.7	92.8	77.9
20~24	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
25~29	91.7		102.8	99.6		109.4
30~34	89.8	93.1	100.3	100.3	100.4	102.5
35~39	93.1	96.5		97.2	97.3	
40~44	94.7	98.2	103.6	98.1	98.2	100.9
45~49	91.4	94.8		100.4	100.5	
50~54	94.8	98.3	100.6	96.2	96.3	97.5
55~59	88.6	91.9		97.7	92.4	
60~64	86.0	89.1	99.3	75.2	75.3	98.5
65歳以上	78.3	81.2		88.3	88.4	

資料出所 日 本 労働省「賃金構造基本統計」(昭和53年)

イギリス 雇用省 “New Earnings Survey 1976”

フランス 国立統計経済研究所 “La structure des Salaires dans
L'industrie en 1972”

(注) イギリスは18~20歳, 21~24歳, フランスは20歳以下, 21~30歳, 31~50歳, 51~60歳, 61歳以上である。

第119表 産業別,規模別,年齢別男女間賃金格差

第119表 産業別、規模別、年齢別男女間賃金格差

産業	企業規模	区分	18~19歳	20~24	25~29	30~34	35~39
			18~19歳	20~24	25~29	30~34	35~39
製造業	規模計	生産労働者	87.7	80.7	67.5	55.1	48.7
		管理・事務・技術労働者	94.5	87.1	76.4	63.4	55.3
	1,000人以上	生産労働者	84.6	84.9	79.5	68.2	58.2
		管理・事務・技術労働者	97.0	89.1	80.0	70.2	62.1
	10~99人	生産労働者	86.6	74.6	58.6	51.4	48.2
		管理・事務・技術労働者	92.6	79.7	64.7	56.6	52.8
卸売・小売業	規模計	—	96.3	88.2	75.3	63.1	54.2
	1,000人以上	—	97.4	90.7	78.1	66.9	57.4
	10~99人	—	93.6	81.9	70.0	59.3	50.2
サービス業	規模計	—	96.8	94.3	82.4	70.5	61.5
	1,000人以上	—	99.6	98.1	86.0	77.3	65.1
	10~99人	—	94.8	91.7	79.4	67.0	59.1

産業	企業規模	区分	40~44歳	45~49	50~54	55~59
			40~44歳	45~49	50~54	55~59
製造業	規模計	生産労働者	48.5	49.2	49.2	53.2
		管理・事務・技術労働者	49.5	48.8	49.6	48.8
	1,000人以上	生産労働者	56.3	54.9	51.9	47.5
		管理・事務・技術労働者	53.2	52.0	53.2	42.8
	10~99人	生産労働者	49.9	52.7	54.6	58.2
		管理・事務・技術労働者	50.7	52.7	55.1	56.8
卸売・小売業	規模計	—	45.4	46.7	48.2	51.9
	1,000人以上	—	50.6	48.1	42.8	46.7
	10~99人	—	48.5	52.0	53.8	58.2
サービス業	規模計	—	55.3	54.1	55.1	61.0
	1,000人以上	—	57.5	56.7	53.0	59.4
	10~99人	—	57.0	58.4	58.4	62.5

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」(昭和53年)

(注) 各年齢層の男子の賃金を100とした女子の賃金の比率である。

第120表 女子の賃金と労働者数

第120表 女子の賃金と労働者数

産 業	規 模	20 ～ 24 歳		40 ～ 44 歳	
		賃 金 (所定内給与) 千円	労働者数 十人	賃 金 (所定内給与) 千円	労働者数 十人
製 造 業	1,000人以上	101.3 (103.3)	17,930 (14.6)	117.2 (116.8)	3,368 (6.3)
	100～999人	92.1 (93.9)	18,311 (14.9)	89.7 (89.4)	12,329 (22.9)
	10～99人	84.2 (85.8)	9,444 (7.7)	84.3 (84.0)	18,656 (34.7)
卸 売 ・ 小 売 業	1,000人以上	107.7 (109.8)	13,720 (11.1)	141.0 (140.6)	990 (1.8)
	100～999人	98.0 (99.9)	18,141 (14.7)	112.4 (112.1)	2,278 (4.2)
	10～99人	92.5 (94.3)	13,937 (11.3)	105.0 (104.7)	5,006 (9.3)
サ ー ビ ス 業	1,000人以上	113.7 (115.9)	3,987 (3.2)	150.0 (149.6)	848 (1.6)
	100～999人	104.6 (106.6)	11,901 (9.7)	131.6 (131.2)	4,460 (8.3)
	10～99人	97.9 (99.8)	15,717 (12.8)	117.2 (116.8)	5,843 (10.9)
計		98.1 (100.0)	123,088 (100.0)	100.3 (100.0)	53,778 (100.0)

資料出所 労働省「賃金構造基本統計」(昭和53年)

(注) 賃金および労働者数の()内は製造業、卸売・小売業、サービス業の3つの産業計の平均賃金、労働者数を100としたそれぞれの割合である。

第121表 小売価格の国際比較

第121表 小売価格の国際比較（食料品）

（東京=100 とした水準の格差）

項 目	東 京	ニ ュ ー ヨ ー ク	ハ ン ブ ル グ	ロ ン ド ン	パ リ
為替レート（昭和53年）		210.47 円/ドル	104.78 円/マルク	403.66 円/ポンド	46.64 円/フラン
小食	100	75	103	61	83
牛	100	85	108	45	53
豚	100	34	54	46	54
鶏	100	59	98	53	71
	100	31	67	40	66
鶏	100	79	117	85	141
ハソ	100	104	117	59	90
牛	100	103	121	33	107
バ	100	39	50	41	44
	100	50	57	34	63
チ	100	81	98	56	84
砂	100	76	67	48	63
粉	100	74	169	—	69
ば	100	62	43	28	23
た	100	77	94	72	71
キ	100	90	45	65	83
キ	100	57	48	90	96
ト	100	81	91	85	88
レ	100	67	117	133	117
バ	100	63	79	107	135
レ	100	70	51	84	87
ジ	100	40	37	53	105
た	100	75	72	—	115
さ	100	130	112	—	—
インスタントコーヒー	100	52	133	50	80
チ	100	59	68	78	60
コ	100	28	133	63	78
レ	100	48	59	13	60
ト					
イン					
ガム					
紅茶（ティーバッグ）					

資料出所 総理府統計局「小売物価統計調査」，日本貿易振興会調べ

（注）1）為替レートは IMF “International Financial Statistics” の年平均レートによる。

2）価格は53年平均である。

3）必ずしも品質，規格等が対応していないことに留意する必要がある。

第122表 小売価格の国際比較

第122表 小売価格の国際比較（食料品以外）

（東京=100とした価格水準の格差）

項 目	東 京	ニ ュ ー ヨ ニ ッ ク	ハ ン プ ル グ	ロ ン ド ン	パ リ
為替レート（昭和53年）		210.47 円/ドル	104.78 円/マルク	403.66 円/ポンド	46.64 円/フラン
水 道 料	100	—	307	105	205
電 気 代	100	141	—	—	102
ガ ス 代	100	213	82	—	137
背 広	100	79	75	46	99
ワ イ シ ャ ッ	100	106	83	89	132
ス カ ー ト	100	161	179	126	304
婦 人 セ ー タ ー	100	97	156	111	144
カ ラ ー テ レ ビ	100	75	84	94	149
電 気 冷 蔵 庫	100	105	94	57	45
バ ス 代	100	117	233	81	88
タ ク シ ー 代	100	73	42	59	59
地 下 鉄 代	100	75	150	173	56
通 話 料	100	210	210	80	280
ガ ソ リ ン 代	100	31	79	61	91
新 聞	100	84	188	122	168
週 刊 誌	100	117	131	56	129
写 真 焼 付 代	100	157	187	124	250
た ば こ	100	93	199	135	83
民 営 家 賃	100	124	41	57	99
理 髪 料	100	96	81	63	132
パ ー マ ネ ン ト 代	100	180	92	78	147
私 立 高 校 授 業 料	100	273	200	—	206

資料出所 総理府統計局「小売物価統計調査」, 経済企画庁資料による。

(注) 1) 為替レートは IMF “International Financial Statistics” による53年平均である。

2) 価格は53年1月時点である。

3) 必ずしも品質, 規格等が対応していないことに留意する必要がある。

第123表 農産物の輸入依存度

第123表 農産物の輸入依存度 (1976年)

項目	日本	アメリカ	西ドイツ	イギリス	フランス	イタリア
1人当たり農産物輸入額 (ドル)	67.3	46.7	191.5	154.1	118.9	112.3
農産物輸入の輸入総額に占める割合(%)	11.8	8.2	13.4	15.4	9.8	14.8

資料出所 日本 日本銀行「国際比較統計」
OECD "Trade by Commodities"

(注) 日本の農産物輸入には単価の安い飼料穀物の輸入が多いことに留意する必要がある。

第124表 小売業の規模別生産性(1人当たり販売額)格差および規模別商店数増加率,構成比

第124表 小売業の規模別生産性 (1人当たり販売額) 格差および規模別商店数増加率, 構成比

従業員規模	アメリカ (1972)	イギリス (1971)	日本 (1976)	商店数増加率	商店数構成比
				1976/1966	(計=100, 1976)
				%	%
100人以上	100.0	100.0	100.0	99.1	0.1
50~99人	150.1	112.2	70.1	73.4	0.2
30~49	139.1	95.9	59.6	57.7	0.4
20~29			57.0	51.9	0.7
10~19	109.6	86.2	57.4	46.1	2.7
5~9	102.1	90.0	55.1	49.6	10.3
3~4	88.8	92.7	39.4	36.3	23.7
1~2	91.1	96.4	24.4	6.3	61.9

資料出所 日本 通商産業省「商業統計表」

アメリカ 商務省 "1972 Census of Retail Trade"

イギリス 産業省 "Report on the Distribution and Other Services" (1971)

(注) 1) アメリカの5~9人, 3~4人は, それぞれ6~9人, 3~5人規模である。

2) 飲食店を除く。

3) 生産性とは1人当たり販売高である。

第125表 産業別民間資本ストック構成比,資本装備率の日米比較

第125表 産業別民間資本ストック構成比、

産 業	年 平 均 実 質 増 加 率				
	ア メ リ カ			日 本	
	1948 ～1957年	1957 ～1966年	1966 ～1973年	1955 ～1965年	1965 ～1975年
合 計	3.4%	2.7%	3.3%	9.6%	11.7%
2 次 産 業	3.2	2.7	2.8	12.3	12.5
鉱 業	0.5	0.3	1.7	5.2	4.9
建 設 業	7.9	6.9	3.3	14.3	17.2
製 造 業	3.4	2.7	2.9	12.5	12.3
3 次 産 業	3.5	2.6	3.5	6.9	10.6
卸売小売	4.5	3.2	3.2	2.3	10.6
金融保険	5.1	5.7	6.2	15.3	8.2
運輸通信	2.8	1.1	1.9	9.8	10.2
電気・ガ ス・水道	5.2	3.0	5.1	9.8	8.9
サービス	2.0	5.5	4.8	7.9	15.5

資料出所 日 本 総理府統計局「事業所統計調査」
 経済企画庁「民間企業粗資本ストック」
 アメリカ 労働省“Employment and Earnings”
 U. S. Conference Board “National Wealth of the United

- (注) 1) アメリカの円換算資本装備率は1973年の平均為替レート(1ドル=272)
 2) 3次産業には不動産業を含んでいない。

資本装備率の日米比較

資本ストック残高の構成比		資 本 装 備 率			
アメリカ	日 本	ア メ リ カ	日 本		アメリカ 日 本
(1973)	(1975)	(1973)	(1975)	(1975)	
%	%	千ドル	万円	万円	倍
100.0	100.0	19.2	522	279	1.9
33.7	60.0	25.8	702	392	1.8
2.6	0.8	76.4	2,078	624	3.3
2.1	5.0	9.8	267	133	2.0
29.0	54.2	27.4	745	475	1.6
66.3	40.0	33.5	911	196	4.6
14.6	12.2	16.7	454	110	4.1
3.2	2.8	18.5	503	207	2.4
23.7	7.6	114.9	3,125	411	7.6
14.4	10.1	373.4	10,156	5,643	1.8
10.4	7.4	15.1	411	133	3.1

States, by Major Sector and Industry”

円) で換算した。

第126表 週休2日制の形態別適用労働者割合

第126表 週休2日制の形態別適用労働者割合

(単位 %))

企業規模	計	完全	月3回	隔週	月2回	月1回
調査産業計 30人以上	72.3	24.0	7.3	12.4	15.3	13.2
1,000人以上	92.9	44.0	10.8	13.3	15.1	9.7
100～999人	67.4	13.1	6.5	14.1	17.5	16.3
30～99人	39.0	2.8	1.8	7.6	11.8	15.0
10～29人	21.4	2.3	1.3	3.7	6.2	7.9
製造業 30人以上	81.0	37.4	9.8	12.4	13.2	8.1
10～29人	25.3	1.6	2.6	5.3	5.9	9.8
卸売・小売業 30人以上	75.2	17.3	6.9	10.3	20.3	20.3
10～29人	28.1	4.7	—	4.8	9.0	9.6
サービス業 30人以上	51.2	14.3	5.3	14.6	6.0	11.1
10～29人	17.7	2.4	4.1	2.7	0.8	7.6

資料出所 労働省「賃金労働時間制度総合調査」

「小規模企業労働条件実態調査」

(注) 30人以上は53年9月現在, 10～29人は52年9月現在である。

第127表 産業別完全週休2日制の普及率

第127表 産業別完全週休2日制の普及率

(単位 %)

産 業	適用労働者の割合			適用企業の割合		
	日 本	アメリカ	イギリス	日 本	フランス	
	1978年	1976年	1968年	1978年	1970年	
	雇 用 労働者	雇 用 労働者	雇 用 労働者	雇 用 労働者	事 務 労働者	生 産 労働者
調査産業計 (除く農林水産業)	24.0	85.5	84.7	5.6	60.4	53.1
鉱 業	0.0	73.0	94.3	0.0	26.9	18.7
建 設 業	4.3	88.7	85.7	3.3	53.5	49.9
製 造 業	37.4	89.0	95.1	7.3	69.7	69.7
卸 売 ・ 小 売 業	17.3	70.1	56.9	3.8	50.9	41.1
金 融 ・ 保 険 業	4.3	86.3	*	1.8	95.7	43.4
運 輸 ・ 通 信 業	8.5	89.3	64.0	4.4	16.5	7.9
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 熱 供 給 業	7.6	—	98.6	9.6	—	—
サ ー ビ ス 業	14.3	91.1	86.8	5.8	59.6	54.4
公 務	*	94.5	91.4	—	—	—

資料出所 日 本 労働省「賃金労働時間制度総合調査」

アメリカ 労働省 “Monthly Labor Review” (1977年4月)

イギリス 雇用省 “New Earnings Survey” (1968年)

フランス 労働省調べ

(注) 1) 日本は、規模30人以上の企業に関するもの。

2) *は調査対象外を示す。

第128表 各国の週休2日制の実施状況

第128表 各国の週休2日制の実施状況

週休2日制の有無	国名	国数	百分率
実施国	〔西欧〕 アイルランド、オーストラリア、オランダ、スイス、スウェーデン、デンマーク、西ドイツ、ノルウェー、フィンランド、ベルギー、イギリス 〔北米〕 アメリカ、カナダ 〔大洋州〕 オーストラリア、ニュージーランド 〔東欧〕 ソ連、チェコスロバキア、ユーゴスラビア 〔中南米〕 アルゼンティン、ヴェネズエラ、ウルグアイ、エクアドル、コロンビア、チリ、ドミニカ、パナマ、ブラジル、ペルー、ボリビア 〔アジア〕 タイ 〔アフリカ〕 ガーナ、ザンビア、南アフリカ	33	38.4%
部分的実施国	〔西欧〕 イタリア、スペイン、フランス、ポルトガル 〔東欧〕 ハンガリー、ブルガリア 〔中南米〕 エルサルヴァドル、グアテマラ、コスタリカ、パラグアイ、ホンジュラス、メキシコ 〔アジア〕 シンガポール、フィリピン 〔中近東〕 アルジェリア 〔アフリカ〕 セネガル、象牙海岸、ナイジェリア、マダガスカル	19	22.1%
未実施国	〔東欧〕 ポーランド、ルーマニア 〔中南米〕 キューバ、ニカラグア 〔アジア〕 インド、インドネシア、ヴェトナム、カンボディア、スリランカ、大韓民国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ビルマ、ラオス、マレーシア、香港、中華人民共和国、日本 〔中近東〕 アフガニスタン、イスラエル、イラク、イラン、クウェイト、サウジアラビア、シリア、トルコ、エジプト、チュニジア、スーダン 〔アフリカ〕 ガボン、ケニア、ザイール、エチオピア	34	39.5%

資料出所 外務省「各国における週休2日制と就業時間調査」

(注) 1) 調査時点は1972年11月末である。

2) 実施国、部分的実施国、未実施国の区分

イ 実施国

官庁、銀行の全部が実施し、更に一部の民間企業が実施している国、若しくは勤労者の80%以上が実施している国（例、チェコ、イギリス、西ドイツ）

ロ 部分的実施国

少なくとも官庁にて実施している国若しくは全銀行が実施している国（この場合必ず産業の一部が実施している。）

ハ 従って、次の如きものは未実施国に入れた。

一部民間会社（イスラエル）、一部大企業に限って実施（インド）、外国系企業のみ実施（クウェイト、ニカラグア）、官庁の一部実施（イラン、香港）

第129表 年次有給休暇および有給公休日の国際比較

第129表 年次有給休暇および有給公休日の国際比較（1976年）

国名	年次有給休暇		有給公休日 ¹⁾
	法定最低限 (勤続1年の者に 与えられる日数)	労働協約	
日本	6日	13.4 (8.2) ²⁾	8.4 ³⁾
アメリカ		勤続10年で年3週間以上 ⁴⁾	8.4
西ドイツ	18 ⁵⁾	20~30	10~13
イギリス		15~20	7~8
フランス	24	24	8~10
イタリア	12	20~24	17~18
オランダ	15~18 ⁶⁾	20~21	7
ベルギー	24	24	10
ルクセンブルグ	20~22 ⁷⁾	20~22	10
デンマーク	24	24	9.5

資料出所 日本 労働省「賃金労働時間制度総合調査」（1976年）、「労働者福祉施設制度等調査」（1975年）、「労働費用調査」（1971年）
 アメリカ 労働省 “Handbook of Labor Statistics, 1975”
 その他 EC “Social Indicators, 1977”

- (注) 1) 「有給公休日」とは、国民の祝祭日等のうち有給のものの日数である。
 2) () 外は、有給休暇付与日数 [1976年賃金労働時間制度総合調査により推計]
 () 内は、労働者1人平均有給休暇利用日数 [1975年]。いずれも規模30人以上企業に関するもの
 3) 1971年の製造業に関する数値（規模30人以上企業に関するもの）
 4) アメリカの有給休暇は1973~74年、有給公休日は1974年数値
 勤続10年で年3週間以上の有給休暇が付与される労働者は労務者74%、職員87%
 5) 勤続6カ月以上の者に付与
 6) ほぼ勤続6カ月以上の者に適用される。
 7) なお、勤続1年未満の者に対しては、ヨーロッパ諸国では一般に勤続月数に比例して有給休暇が与えられる。

第130表 労働者1人当たり年次有給休暇の消化率

第130表 労働者1人当たり年次有給休暇の消化率（試算）

産 業	51 年		
	付 与 日 数 ¹⁾	取 得 日 数 ²⁾	取 得 率
	日	日	%
調 査 産 業 計	13.4	8.2	61.2
1,000人～	16.2	10.6	65.4
100 ～ 999人	12.0	7.1	59.2
30 ～ 99人	10.4	5.4	51.9
鉱 業	15.2	11.5	75.7
建 設 業	11.8	5.8	49.2
製 造 業	13.9	8.8	63.3
卸 売 ・ 小 売 業	11.3	5.6	49.6
金 融 ・ 保 険 業	16.2	11.5	71.0
不 動 産 業	12.6	8.0	63.5
運 輸 ・ 通 信 業	14.1	9.4	66.7
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 熱供給業	19.0	13.4	70.5

資料出所 労働省「賃金労働時間制度総合調査」，「労働者福祉施設制度等調査」

(注) 1) 付与日数は勤続年数別年次有給休暇日数（昭和51年賃金労働時間制度総合調査）を勤続年数別労働者数（賃金構造基本統計調査）を用いて加重平均したもの。

2) 取得日数は労働省「労働者福祉施設制度等調査」（昭和50年）による。

第131表 年次有給休暇を半分しか消化していない理由

第131表 年次有給休暇を半分しか消化していない理由

(単位 %)

性	仕事が忙しいから	仕事をしているのが楽しいから	職場のふんいきが休みにくいから	休暇をとる手続がめんどうだから	休んでもすることがないから	あとでまあとめて使いたいから	その他	不明
総数	38.2	4.4	22.9	1.5	8.4	11.0	11.3	2.3
男子	42.1	4.6	21.4	1.2	8.7	9.1	10.7	2.2
女子	28.1	3.7	26.7	2.3	7.6	15.9	13.0	2.6

資料出所 労働省「勤労者生活意識調査」(46年)

第132表 年齢別家計収支

第132表 年齢別家計収支(全国, 勤労者世帯, 昭和53年)

(単位 円)

年齢	実収入	世帯主収入	消費支出	可処分所得	黒字	貯蓄純増
平均	304,562	254,671	208,231	270,307	62,076	37,511
～24歳	197,157	154,367	150,469	180,498	30,030	20,210
25～29	236,546	202,384	172,403	212,967	40,564	27,988
30～34	261,606	230,429	183,825	235,268	51,443	28,061
35～39	293,179	258,090	199,538	261,883	62,345	37,175
40～44	320,835	277,603	215,748	284,971	69,223	40,390
45～49	361,257	298,080	248,970	317,050	68,079	41,466
50～54	388,084	300,663	245,330	338,201	92,872	59,402
55～59	341,985	252,929	222,353	299,274	76,921	48,975
60～64	248,932	171,309	192,094	220,548	28,454	15,309
65～	242,570	153,379	179,795	218,721	38,926	27,352

資料出所 総理府統計局「家計調査」

第133表 世帯主年齢別家計収支の変化

第133表 世帯主年齢別家計収支の変化(全国, 勤労者世帯)
(単位 倍)

年 齢	48年/38年				53年/48年			
	実収入	世帯主 収 入	消 費 支 出	消費支出 (世帯人 員1人 当り)	実収入	世帯主 収 入	消 費 支 出	消費支出 (世帯人 員1人 当り)
平 均	3.112	3.166	2.846	3.097	1.836	1.829	1.780	1.794
~24歳	3.246	4.109	2.887	3.457	1.786	1.779	1.762	1.762
25~29	3.233	3.556	2.978	3.105	1.792	1.766	1.768	1.725
30~34	3.166	3.277	2.951	3.005	1.769	1.752	1.741	1.723
35~39	3.082	3.115	2.830	2.903	1.814	1.798	1.755	1.773
40~44	3.125	3.141	2.820	3.069	1.813	1.806	1.764	1.752
45~49	3.264	3.174	2.959	3.319	1.854	1.862	1.819	1.832
50~54	3.160	3.048	2.840	3.480	1.862	1.899	1.747	1.833
55~59	2.768	3.011	2.470	3.091	1.959	1.944	1.825	1.919
60~64	2.979	3.020	2.864	3.373	1.657	1.722	1.682	1.830
65~	2.827	3.050	2.583	3.082	1.832	1.747	1.912	2.078

資料出所 総理府統計局「家計調査」

第134表 高齢人口の推移

第134表 高齢人口の推移
(単位 1,000人, %)

年	人 口			総 人 口 比		老年人口 指 数
	総 数	60歳以上	65歳以上	60歳以上	65歳以上	
昭和35年(1960)	93,419	8,281	5,350	8.9	5.7	8.9
40 (1965)	98,275	9,525	6,181	9.7	6.3	9.2
45 (1970)	104,665	11,145	7,393	10.7	7.1	10.3
50 (1975)	111,934	13,135	8,858	11.7	7.9	11.7
53 (1978)	115,174	14,290	9,920	12.4	8.6	12.8
55 (1980)	117,563	14,847	10,436	12.6	8.8	13.2
60 (1985)	122,333	17,255	11,909	14.1	9.7	14.5
65 (1990)	126,280	20,526	13,909	16.2	11.0	16.2
70 (1995)	130,065	23,793	16,503	18.2	12.6	18.9
75 (2000)	133,676	26,480	19,061	19.8	14.2	21.7

資料出所 総理府統計局「国勢調査」

厚生省人口問題研究所「人口問題研究」

(注) 老年人口指数 = (65歳以上 / 15~64歳人口) × 100

第135表 核家族世帯および高齢者世帯の推移

第135表 核家族世帯および高齢者世帯の推移

年	世帯数(1,000世帯)			総世帯数比(%)		
	総数 (A)	核家族世帯数 (B)	高齢者世帯数 (C)	核家族世帯 (B/A)	高齢者世帯 (C/A)	うち単独世帯の割合
昭和40年	25,940	14,241	799	54.9	3.1	55.6
45	29,887	17,028	1,196	57.0	4.0	51.5
50	32,877	19,304	1,619	58.7	4.9	50.7
51	34,275	19,651	1,894	57.3	5.5	51.7
52	34,414	20,453	1,921	59.4	5.6	51.9
53	34,466	20,768	2,027	60.3	5.9	—

資料出所 厚生省「厚生行政基礎調査」

(注) 「核家族世帯」とは、夫婦のみの世帯、夫婦または片親と子供からなる世帯をいう。また、「高齢者世帯」とは、男65歳以上、女60歳以上の者のみで構成されるか、または、これに18歳未満の者が加わった世帯をいう。単独世帯とは、世帯員が1人だけの世帯をいう。

第136表 65歳以上老人の、子との同居率の推移

第136表 65歳以上老人の、子との同居率の推移

(単位 %)

性	35年	38	41	43	44	48	49
総数	81.6	79.9	80.4	79.2	80.3	76.5	74.7
男子	80.3	77.0	79.8	76.5	79.7	72.8	72.3
女子	82.6	82.2	80.1	81.4	80.4	79.8	77.0

資料出所 総理府広報室「老人福祉に関する世論調査」(41年)
「老後の生活に関する世論調査」(44年)
「老人問題に関する世論調査」(48年)
総理府老人対策室「老親扶養に関する調査」(49年)
厚生省「高齢者実態調査報告書」(35, 38年)
「高年者実態調査報告」(43年)

第137表 世帯主の年齢別貯蓄現在高

第137表 世帯主の年齢別貯蓄現在高(全国, 勤労者世帯, 昭和52年)

(単位 千円)

年 齢	平 均	第1 四分位数	第2 四分位数 (中位数)	第3 四分位数	四分位 偏 差	四分位 偏差係数	(負 債) 保有高
平 均	3,506	1,211	2,294	4,237	1,513	0.66	2,013
～24歳	1,002	210	523	1,590	690	1.32	198
25～29	1,994	739	1,379	2,293	777	0.56	1,130
30～34	2,329	918	1,735	2,955	1,019	0.59	1,969
35～39	2,844	1,270	2,150	3,800	1,265	0.59	2,002
40～44	3,023	1,398	2,504	4,143	1,373	0.55	2,423
45～49	4,221	1,691	3,092	5,500	1,905	0.62	2,317
50～54	4,817	1,785	3,436	6,802	2,509	0.73	2,191
55～59	6,090	2,000	4,200	7,690	2,845	0.68	1,470
60～64	6,769	1,470	3,971	9,302	3,916	0.99	2,217
65歳～	6,189	1,973	3,520	9,190	3,609	1.03	628

資料出所 総理府統計局「貯蓄動向調査」

(注) 1) 貯蓄現在高, 負債現在高ともに現在高0の世帯を含まない。

第138表 労働力人口1人当たり扶養負担率の推移

第138表 労働力人口1人当たり扶養負担率の推移

年	労働力人口に対する比率			
	総 人 口	0～14歳人口	非労働力人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
昭和30年 (1955)	2.239	0.751	0.360	0.129
40 (1965)	2.151	0.552	0.462	0.136
50 (1975)	2.198	0.540	0.485	0.173
53 (1978)	2.203	0.533	0.483	0.187
60 (1985)	2.239	0.513	0.509	0.218
70 (1995)	2.245	0.451	0.509	0.285
80 (2005)	2.348	0.482	0.504	0.363
53～70年の差	0.042	-0.082	0.026	0.098

資料出所 総理府統計局「労働力調査」

厚生省人口問題研究所「人口問題研究」

(注) 昭和50年以前は労働力調査, 53年, 60年は人口問題研究所推計値, 70年, 80年は, 60年の年齢別労働力率(人口問題研究所推計)を固定して推計

第139表 退職金制度の普及状況

第139表 退職金制度の普及状況

(単位 %)

企業規模	計			退職一時金制度 のみの企業			年金制度のある企業		
	46年	50年	53年	46年	50年	53年	46年	50年	53年
調査産業計	90.8	90.7	92.2	71.3	67.1	62.1	28.7	32.9	37.9 (21.4)
1,000人以上	99.9	99.8	99.9	51.5	40.2	37.7	48.5	59.9	62.3 (53.6)
300～999人	98.5	99.4	99.9	58.1	50.3	42.8	41.9	49.7	57.2 (40.7)
100～299人	95.2	96.6	97.3	64.6	63.0	57.1	34.4	37.1	42.8 (24.2)
30～99人	88.5	87.7	89.6	75.7	71.3	66.7	24.2	28.7	33.3 (13.9)

資料出所 労働省「賃金労働時間制度調査」, 「退職金制度総合調査」

(注) () 内の数字は退職一時金と年金を併給する企業である。

第140表 企業年金の普及状況

第140表 企業年金の普及状況

項目	日 本		アメリカ (1975)	西ドイツ (1976)	イギリス (1975)
	(1971)	(1975)			
適用労働者数(万人)	635	740	3,030	685	1,150
適用率(%)	35.6	44.0	48.8	65	50
受給者数(万人)	—	—	70.5	—	400

資料出所 日 本 労働省「退職金制度総合調査」

アメリカ 商務省 “Statistical Abstract of the U.S.”

西ドイツ 労働社会省 “Wirtschaft und Statistik” (1978年10月)

イギリス 雇用省 “Department of Employment Gazette”

(May 1977)

(注) 日本は企業規模30人以上での状況

第141表 高齢者家計の国際比較

第141表 高齢者家計の国際比較

項 目	実 額				構 成 比 (%)			
	日 本 (1978) 年金世帯	西ドイツ (1976) 年金世帯	アメリカ (1972-3) 引退世帯	イギリス (1975) 引退世帯	日本	西ド イツ	アメ リカ	イギ リス
世帯人員(人)	2.0	2.0	1.7	1.6				
有業人員(人)				0.2				
世帯主年齢(歳)	65	73	72	72				
持家率(%)		9	66					
実 収 入	円 171,852	マルク 997.96	ドル 5,683	ポンド 32.77	100.0	100.0	100.0	100.0
勤め先収入	10,126	—	725	6.55	5.9		12.8	20.0
夫の収入	9,556				5.6			
妻の収入	570				0.3			
事業・内職収入	12,621	38.49	122	0.21	7.3	3.9	2.1	0.6
事業, 副業収入	11,514				6.7			
内職収入	1,107				0.6			
社会保障等給付	127,699	902.82	2,884	21.84	74.3	90.5	50.7	66.6
年金収入	115,821	784.30	2,759		67.4	78.6	48.5	
他の社会保障給付	11,878	114.04	125		6.9	11.4	2.2	
その他の収入	21,407	56.65	1,952	4.18	12.5	3.9	34.3	12.8
財産収入	10,472	24.38	1,097	3.98	6.1	2.4	19.2	12.1
企業年金	10,935	32.27	531	0.20	6.4	3.2	9.3	0.6
その他			324				5.7	

資料出所 東京都「世帯階層別生計調査」

西ドイツ 連邦統計局 “Wirtschaft und Statistik” (77年6月)

アメリカ 労働省労働統計局 “Consumer Expenditure Survey 1972-3”

イギリス 中央統計局 “Family Expenditure Survey 1975”

(注) 日本は7～12月の月平均, 西ドイツ, アメリカは年間,
イギリスは1週間の計である。

第142表 60歳以後の職業生活に対する意識

第142表 60歳以後の職業生活に対する意識

(60歳以上, 構成比 %)

項 目	生活のため働く	生きがいのため働く	健康のため働く	働く必要はない	その時にならないと分らない	その他	
職業生活満足度	かなり満足	50.4	34.2	12.1	0.4	2.9	0
	まあ満足	38.6	16.6	29.8	2.0	8.7	4.4
	やや不満	46.5	13.8	29.2	0.4	7.7	2.4
	大いに不満	31.8	39.4	19.7	0	9.1	0
	どちらともいえない	36.6	23.4	25.9	1.0	11.0	2.1
給与水準	6~10万円未満	32.6	20.1	40.8	0.7	5.0	0.7
	10~15	43.5	25.6	21.1	1.2	6.7	1.9
	15~20	61.4	6.6	14.4	1.1	12.8	3.7
	20~25	35.2	16.0	48.8	0	0	0
	25~30	24.3	6.1	28.5	2.7	20.9	17.5
	30万円以上	27.2	28.3	18.5	9.8	14.1	2.2
扶養家族数	0 人	39.0	17.4	34.5	1.2	6.9	1.0
	1	46.1	20.1	25.8	1.6	5.0	1.5
	2	42.4	14.6	21.5	0	12.0	9.5
	3	4.2	10.5	51.3	4.7	29.3	0
	4人以上	25.0	17.3	17.3	0	11.5	28.8
住 宅	持 家	37.3	19.6	28.8	1.7	8.9	3.7
	公 営 住 宅	36.1	30.6	16.7	0	16.7	0
	民 営 借 家 (間 社)	66.0	9.2	24.8	0	0	0
	社 宅	30.3	30.3	34.2	3.9	1.3	0
貯蓄水準	50万円未満	45.4	26.1	19.0	2.0	7.5	0
	50~100	50.1	14.5	27.9	0.6	3.8	3.0
	100~200	45.5	23.4	23.4	3.3	3.6	0.9
	200~300	34.3	28.0	29.7	2.3	4.0	1.7
	300~400	22.2	25.0	34.4	1.7	16.7	0
	400~500 500万円以上	33.7 31.6	2.8 21.7	28.8 35.8	2.5 0.2	16.1 9.7	16.1 0.9

資料出所 労働省「勤労者の職業生活に関する意識調査」(52年7月)

第143表 高年齢労働者と若年労働者の職業意識

第 143 表 高年齢労働者と若年労働者の職業意識（男子）

（回答構成比）

項 目	25～29歳	55～59歳	60歳以上
	%	%	%
仕事が肉体的につらい	15.5	10.8	14.6
仕事が精神的につらい	32.4	26.2	19.2
仕事に自分の能力が活かされている	38.9	62.1	59.0
自分の能力や実績が正当に評価されている	26.1	40.0	36.8
月々の賃金に満足している	26.6	43.3	49.6
1日の実労働時間が長い	41.7	19.0	23.1
年次有給休暇が少ない	41.8	28.2	36.0
職場の作業環境はかなりよい	9.1	17.1	14.5
今の会社にいつまでも勤めていたい	33.1	57.6	57.3
職業生活に満足している	2.9	13.4	9.0

資料出所 労働省「勤労者の職業生活に関する意識調査」（52年7月）

第144表 就職希望条件が実現した者の割合

第 144 表 就職希望条件が実現した者の割合（4年制大学卒労働者）

（単位 %）

卒業年次	企業規模	業種	職種	専攻科目との関連	賃金	労働時間 週休2日制
計	80.7	75.6	73.5	68.9	50.3	56.8
昭和48, 49年3月卒	87.2	79.6	77.5	72.3	49.8	62.0
50, 51	79.7	75.1	74.5	69.8	46.0	57.2
52	77.2	72.9	72.1	63.7	50.3	51.9
53	74.7	72.3	65.4	66.0	60.0	52.9

資料出所 労働省「高学歴者就業実態調査」

（注）希望がほぼ実現した者の割合である。